

第34回 河内長野市市民意識調査

『河内長野市民の人権に関する意識調査』 報告書

平成20年3月

河内長野市

目次

調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 回収状況	2
4. 報告書の見方	2
回答者の属性	3
性別	3
年齢	3
職業	4
家族構成	4
居住地区	5
居住年数	5
前住地	5
調査結果の分析	6
人権問題全般について	6
女性の人権について	8
子どもの人権について	9
障害者の人権について	10
高齢者の人権について	11
外国人の人権について	12
その他の人権について	13
・インターネット上での人権について	13
・エイズ患者、ハンセン病回復者などの人権について	14
・犯罪被害者などの人権について	15
同和問題について	16
人権侵害について	22
市政全般に関連した内容について	24
・市の生活環境に関する満足度	24
・市の施策の重要度	31
・市内の地域やまちづくりの活動への参加状況	35
調査結果のまとめ	36
資料 調査票見本	39

．調査の概要

1．調査の目的

同和問題をはじめとする人権問題の解決に向けて市民意識の動向を把握することにより、人権尊重の社会づくりに向けた河内長野市の今後の人権教育・啓発施策の効果的取り組みのための基礎資料をとす。また、市政全般に対する市民の意識と実態についても明らかにし、今後の市の取り組みを推進するための資料として活用する。

2．調査の方法

(1) 調査の対象・抽出の方法

満 20 歳以上 90 歳未満の男女個人を対象に、住民基本台帳から無作為抽出法により 2,000 人を選び、実施した。

(2) 調査の方法

郵送による調査票の配布及び回収

(3) 調査期間

平成 19 年 11 月 1 日（木）～11 月 16 日（金）

(4) 調査内容

人権問題全般について

女性の人権について

子どもの人権について

障害者の人権について

高齢者の人権について

外国人の人権について

その他の人権について

・インターネット上での人権について

・エイズ患者、ハンセン病回復者などの人権について

・犯罪被害者などの人権について

同和問題について

人権侵害について

市政全般に関連した内容について

・市の生活環境に関する満足度

・市の施策の重要度

・市内の地域やまちづくりの活動への参加状況

個人の属性

3 . 回収状況

回収結果は、以下のとおりである。

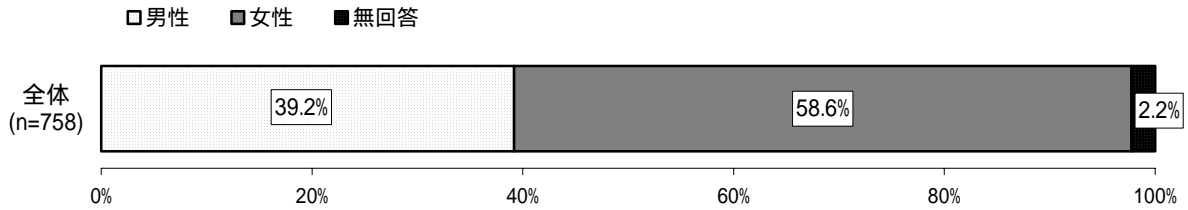
配布数	回収数	有効回収数	無効回収数	回収率
2,000 票	759 票	758 票	1 票	38.0%

4 . 報告書の見方

- (1) 図表中の n は回答者総数を表す。
- (2) 回答の比率 (%) は、その設問の回答者数 (n) を基数として算出している。従って、複数回答の設問については、すべての比率を合計すると 100% を超えることがある。
- (3) 回答比率はすべて百分率 (%) で示し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出している。そのため、構成比の合計と全体を示す数値 (100%) は一致しないことがある。
- (4) 回答選択肢は、図表および文章中において簡略化しているものがある。

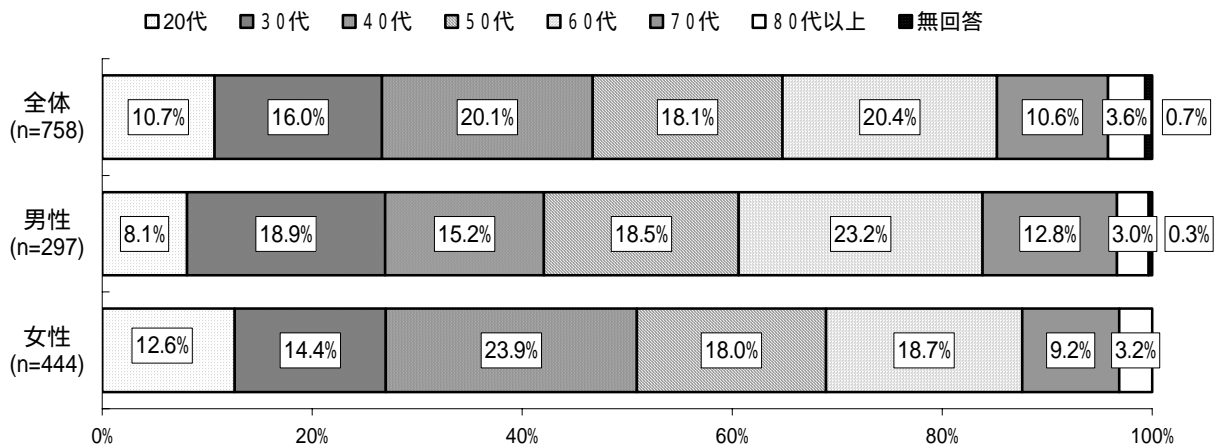
. 回答者の属性

【性別】



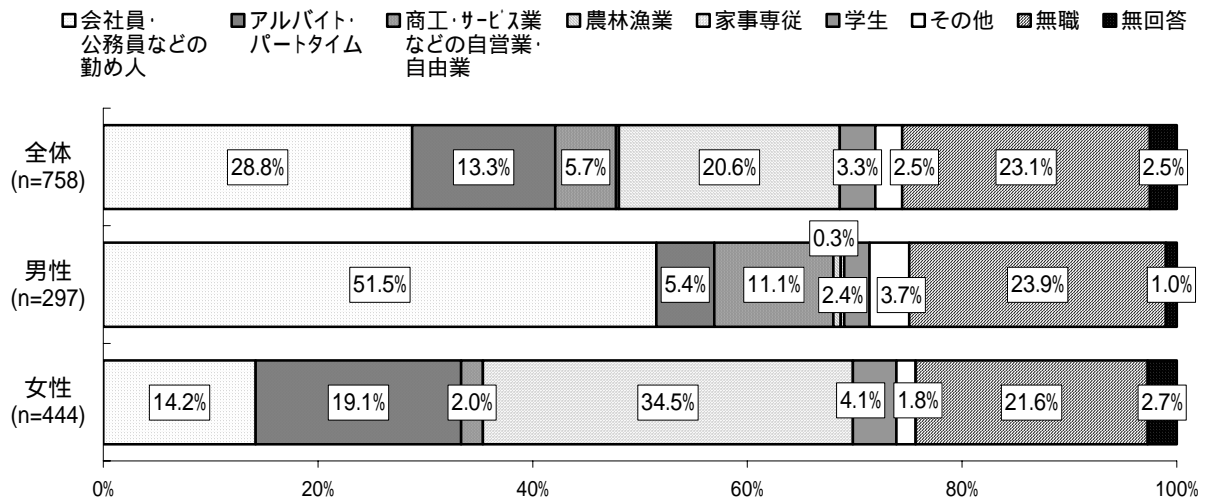
回答者の性別は男性が 39.2%、女性が 58.6%と女性の割合がやや高くなっている。

【年齢】



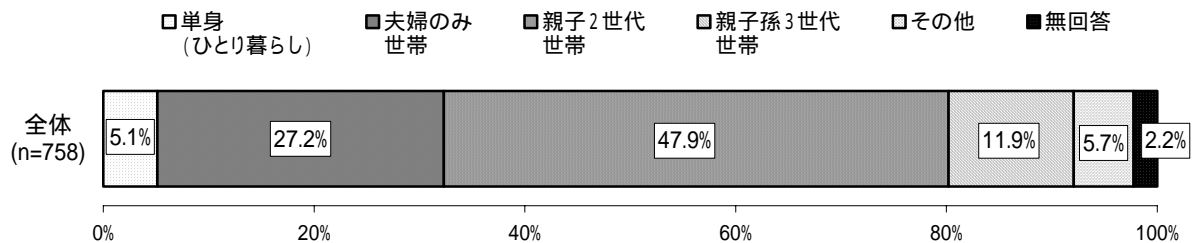
全体では、40代・50代・60代がそれぞれ約20%を占め、30代は16.0%、20代・70代はそれぞれ約10%、80代以上は3.6%となっている。男性では60代が23.2%、70代が12.8%と高く、女性では40代が23.9%と高くなっている。

【職業】



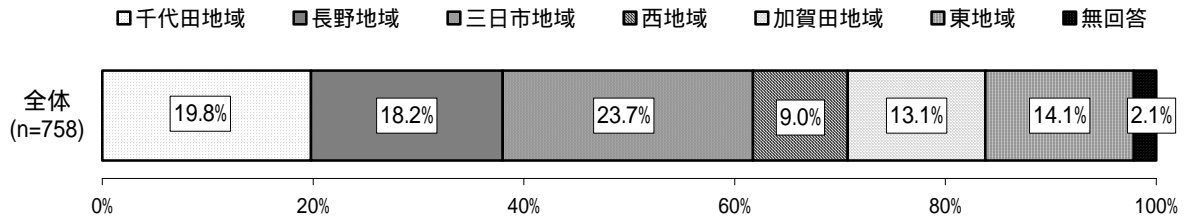
全体で見ると「会社員・公務員など勤め人」が28.8%と最も多く、次いで「無職」(23.1%)、「家事専従」(20.6%)と続く。男性では「会社員・公務員など勤め人」が51.5%と過半数を占める一方、女性では「家事専従」が34.5%に上る。

【家族構成】



家族構成は、「親子2世代世帯」が47.9%と約半数を占めている。次いで「夫婦のみ世帯」は27.2%、「親子孫3世代世帯」が11.9%となっている。

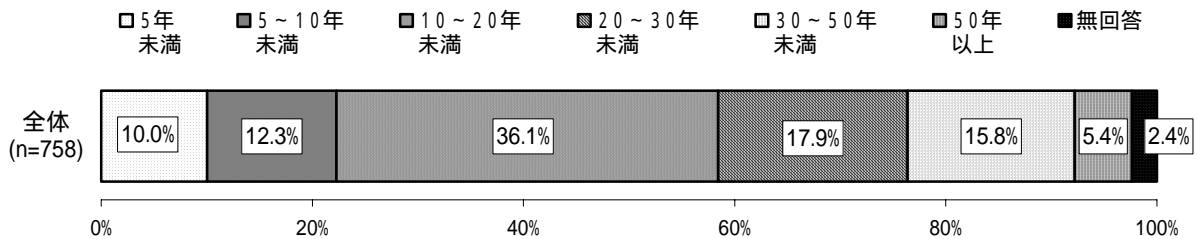
【居住地区】



居住地区を以下のように6地域に分類すると、「三日市地域」が23.7%と最も多く、次いで「千代田地域」(19.8%)、「長野地域」(18.2%)の順となっている。

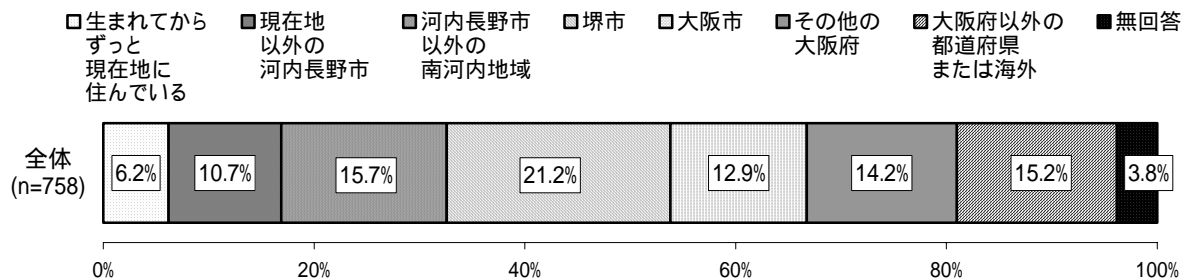
<地域の分類>	
千代田地域	...千代田地区と楠地区
長野地域	...長野地区と小山田地区
三日市地域	...三日市地区と南花台地区
西地域	...天野地区と高向地区
加賀田地域	...加賀田地区
東地域	...天見地区と川上地区と美加の台地区

【居住年数】



居住年数は、「10~20年未満」が36.1%と最も高いが、「20~30年未満」17.9%、「30~50年未満」15.8%、「50年以上」5.4%で、20年以上居住している人も全体の約4割に上る。

【前住地】

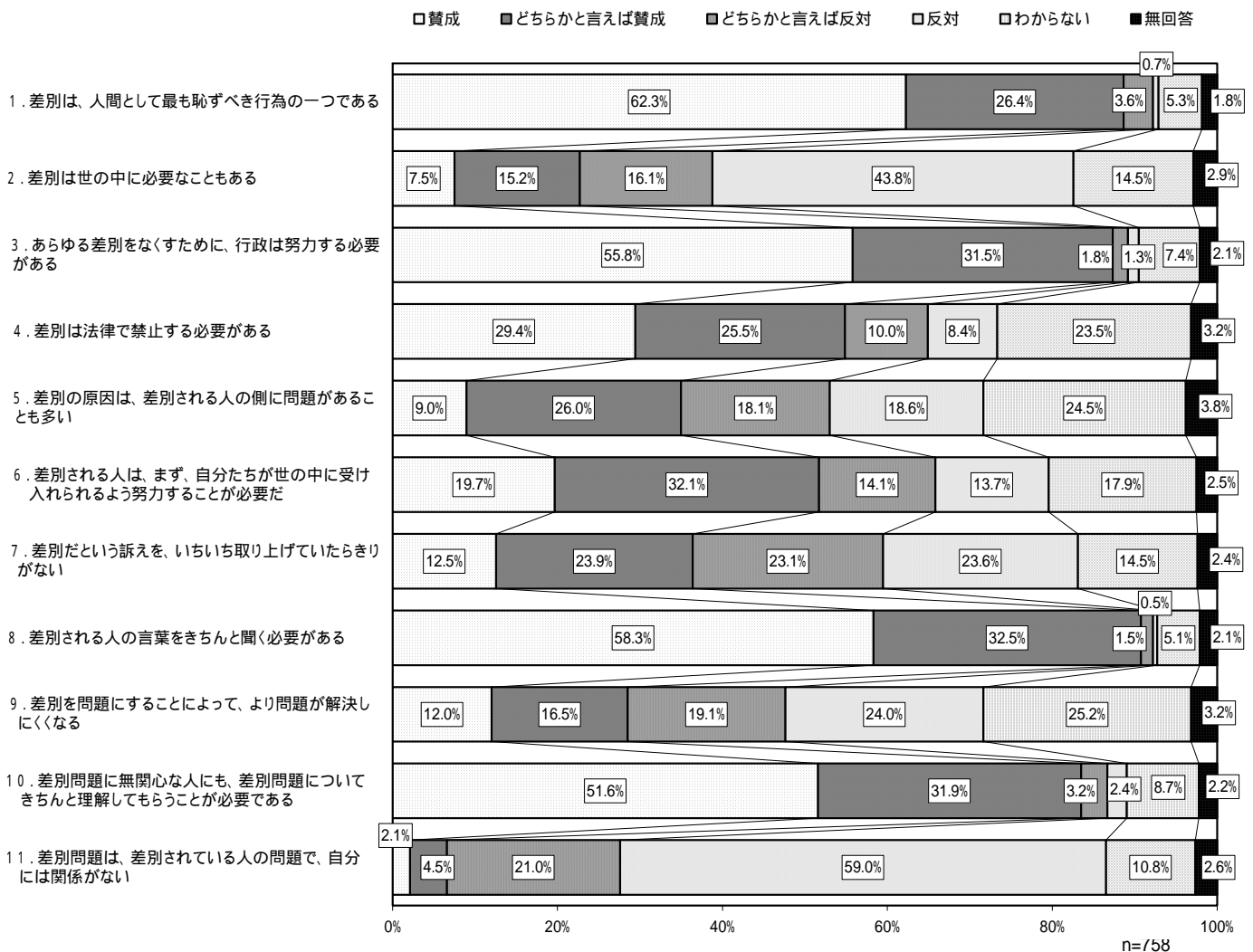


現在地に住む前の居住地は、「堺市」が21.2%と最も高い。「河内長野市以外の南河内地域」・「その他の大阪府」・「大阪府以外の都道府県または海外」がそれぞれ15%前後となっている。一方、「生まれてからずっと現在地に住んでいる」・「現在地以外の河内長野市」を合わせると16.9%に上る。

調査結果の分析

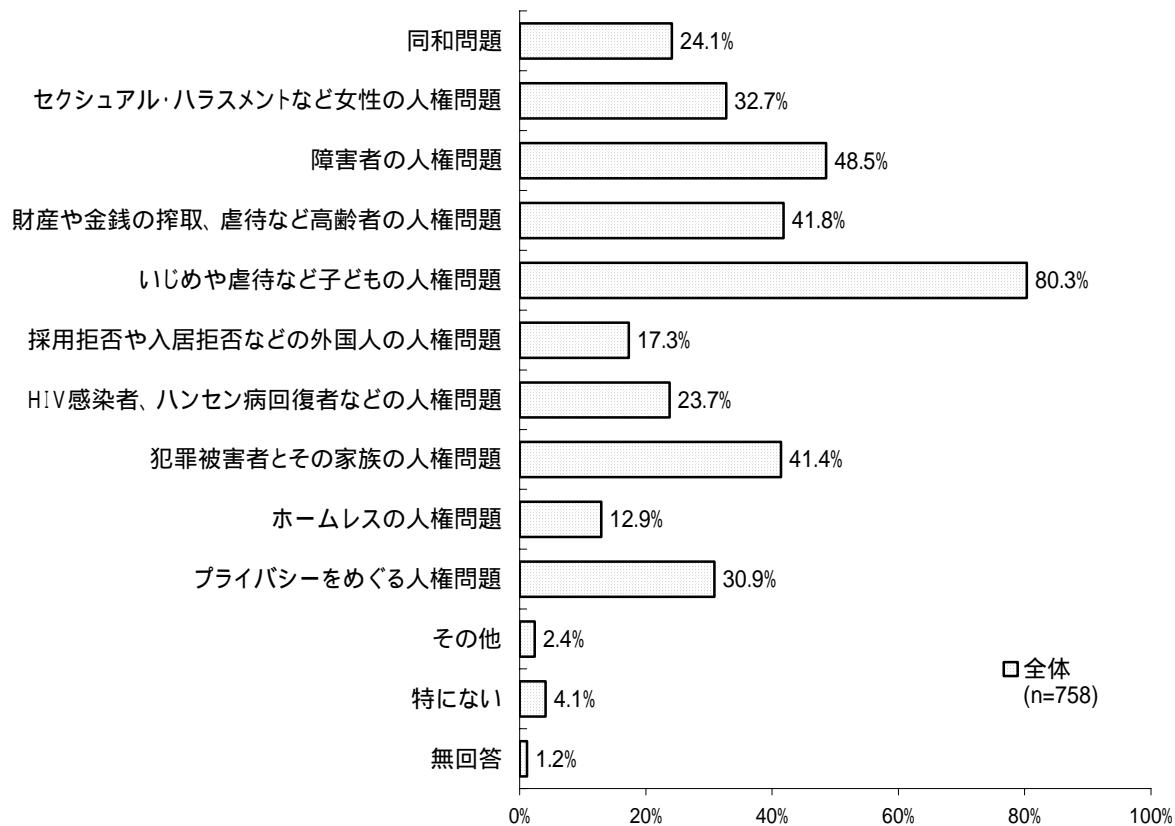
人権問題全般について

問1 一般的に「差別」というものについて、あなたはどのようなお考えをお持ちですか。次にあげる1～11のすべてについてお答えください。頭に浮かんだことを気軽にお答えください。
(はそれぞれ1つ)



「賛成」の割合をみると「差別は人間として最も恥ずべき行為の一つである」が62.3%で最も高くなっている。次いで、「差別される人の言葉をきちんと聞く必要がある」(58.3%)、「あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある」(55.8%)、「差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である」(51.6%)でそれぞれ過半数を超える。逆に、「反対」が多いのは「差別問題は、差別されている人の問題で、自分には関係がない」(59.0%)、「差別は世の中に必要なこともある」(43.8%)の2項目であった。差別はなくすべき行為であり、みんなで解決していかなければならないといった考え方が多数を占めているといえる。

問2 次の人権問題で、あなたが関心のあるものは何ですか。(複数回答可)

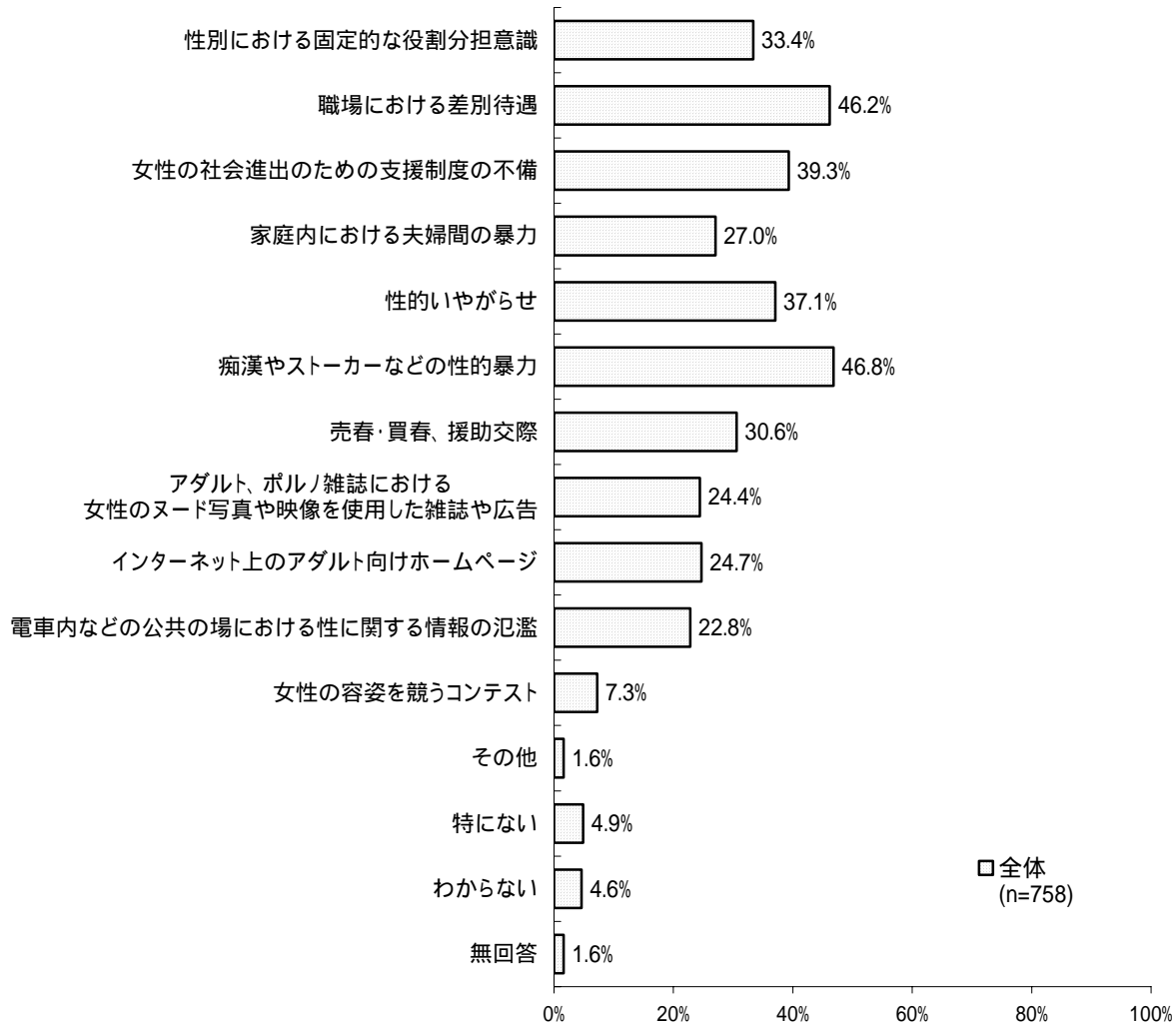


関心のある人権問題をたずねたところ、最も多かったのが「いじめや虐待など子どもの人権問題」が80.3%と関心が高い。次いで「障害者の人権問題」(48.5%)、「財産や金銭の搾取、虐待など高齢者の人権問題」(41.8%)、「犯罪被害者とその家族の人権問題」(41.4%)などとなっている。一方、「特にない」は4.1%にとどまっており、人権問題に対する関心の高さがうかがえる。

年齢別にみると、「いじめや虐待など子どもの人権問題」は20～50代で8割以上を占める。また、「財産や金銭の搾取、虐待など高齢者の人権問題」は年齢が高くなるにつれて多くなり、70～80代では過半数を超えている。

女性の人権について

問3 あなたは、女性に関して現在、どのような人権上の問題があると思いますか。(複数回答可)

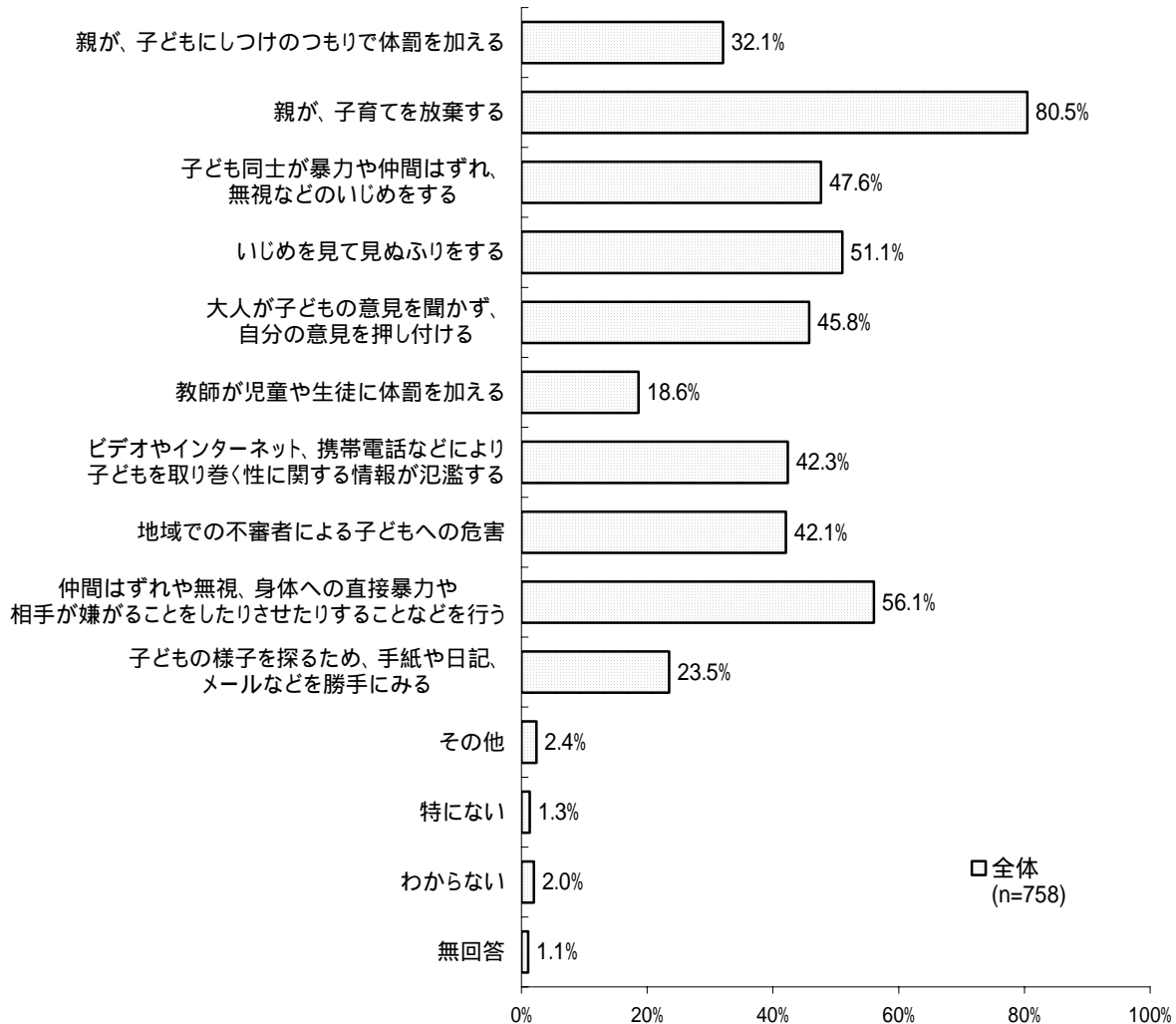


女性の人権に関する問題については、「痴漢やストーカーなどの性的暴力」(46.8%)、「職場における差別待遇」(46.2%)の2項目でそれぞれ4割を超える。

性別にみると、ほぼ全ての項目において女性が男性の割合を上回っており、特に「女性の社会進出のための支援制度の不備」(男性33.0%、女性44.1%)、「職場における差別待遇」(男性40.4%、女性49.8%)でその傾向が顕著に見られた。

子どもの人権について

問4 次のうち、あなたが「子どもの人権が尊重されていない」と思うものはどれですか。
(複数回答可)



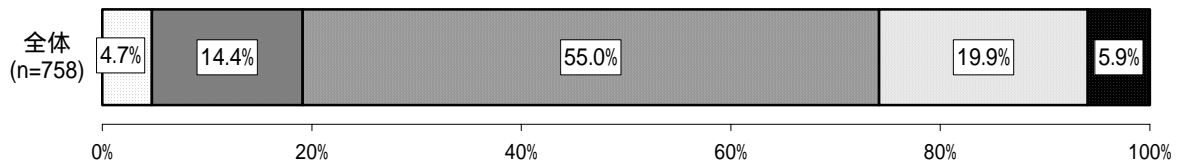
子どもの人権についてたずねたところ、「親が、子育てを放棄する」が80.5%と最も高くなっている。次いで「仲間はずれや無視、身体への直接暴力や相手が嫌がることをしたりさせたりすることなどを行う」(56.1%)、「いじめを見て見ぬふりをする」(51.1%)、「子ども同士が暴力や仲間はずれ、無視などのいじめをする」(47.6%)、「大人が子どもの意見を聞かず、自分の意見を押し付ける」(45.8%)などと続く。

性別にみると、ほぼ全ての項目において女性が男性の割合を上回っており、「親が、子どもにしつけのつもりで体罰を加える」(男性 23.6%、女性 37.8%)、「大人が子どもの意見を聞かず、自分の意見を押し付ける」(男性 39.7%、女性 49.8%)、「教師が児童や生徒に体罰を加える」(男性 12.8%、女性 22.3%)の3項目においては男性と女性とで10ポイント前後の差が見られた。

障害者の人権について

問5 あなたの住居地域に障害者が暮らす施設が設置されるとしたら、あなたはどのように思いますか。
(は1つ)

- 必要な施設だと思うが、自分の住む地域に設置されるのは困る
- いままで障害者と接したことがなかったので不安に思う
- 障害のある人も地域社会の一員なので、受け入れることに問題はない
- 自分や家族が障害者になったときのことを考えれば、身近な所に施設があった方がよい
- 無回答



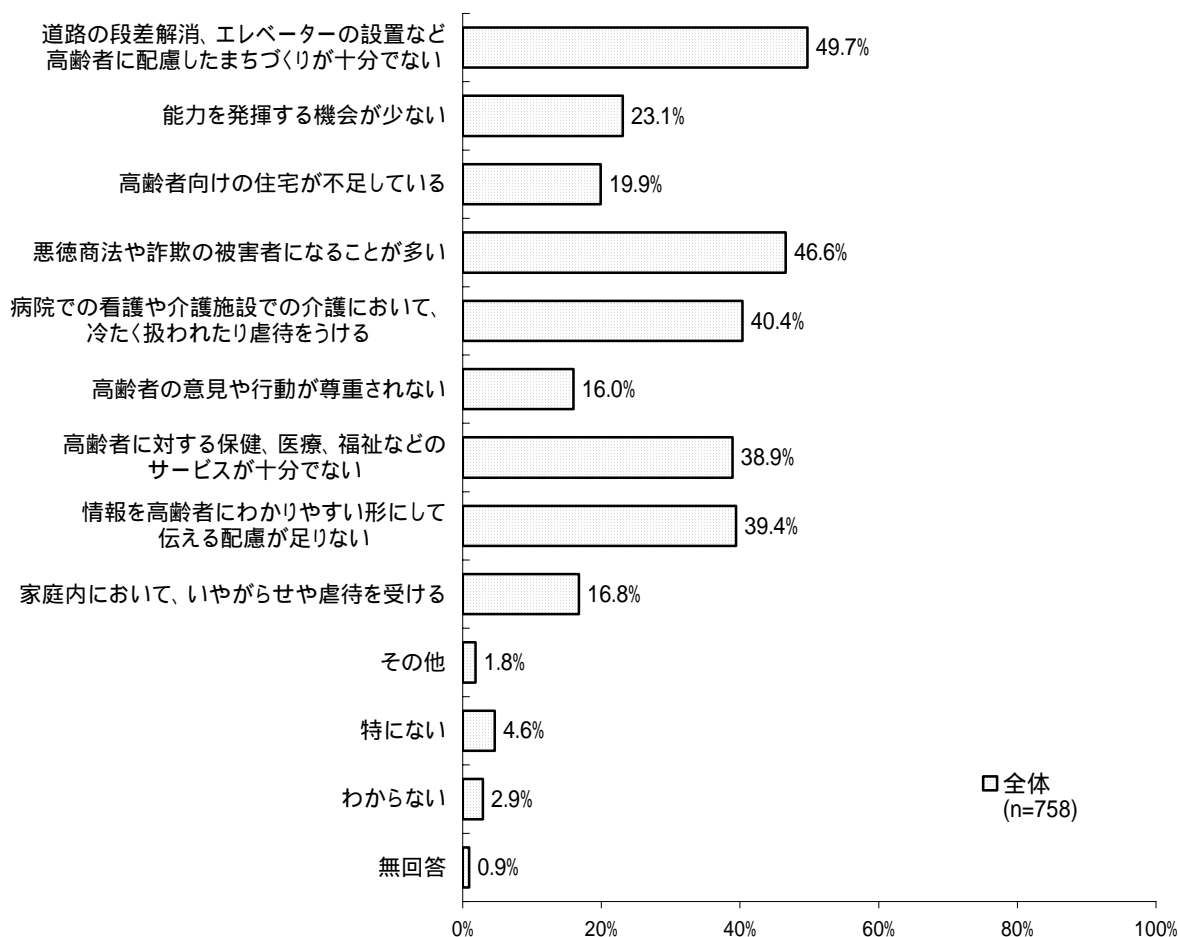
住居地域に障害者が暮らす施設が設置されることになった場合、「障害のある人も地域社会の一員なので、受け入れることに問題はない」が55.0%と最も多く、「自分や家族が障害者になったときのことを考えれば、身近な所に施設があった方がよい」(19.9%)を合わせると74.9%となり、許容する人が多数を占めた。一方、「いままで障害者と接したことがなかったので不安に思う」は14.4%、「必要な施設だと思うが、自分の住む地域に設置されるのは困る」は4.7%とわずかであった。

居住地域別にみると、許容すると答えた割合(「障害のある人も地域社会の一員なので、受け入れることに問題はない」と「自分や家族が障害者になったときのことを考えれば、身近な所に施設があった方がよい」の合計)は、「三日市地域(三日市地区と南花台地区)」と「加賀田地域(加賀田地区)」では8割を超え、逆に「長野地域(長野地区と小山田地区)」は68.1%と若干低くなっている。

居住年数別にみると、許容すると答えた割合は、河内長野市に住んで「50年以上」の人では85.4%にも上っている。

高齢者の人権について

問6 次のうち、あなたが「高齢者の人権が尊重されていない」と思うものはどれですか。
(複数回答可)



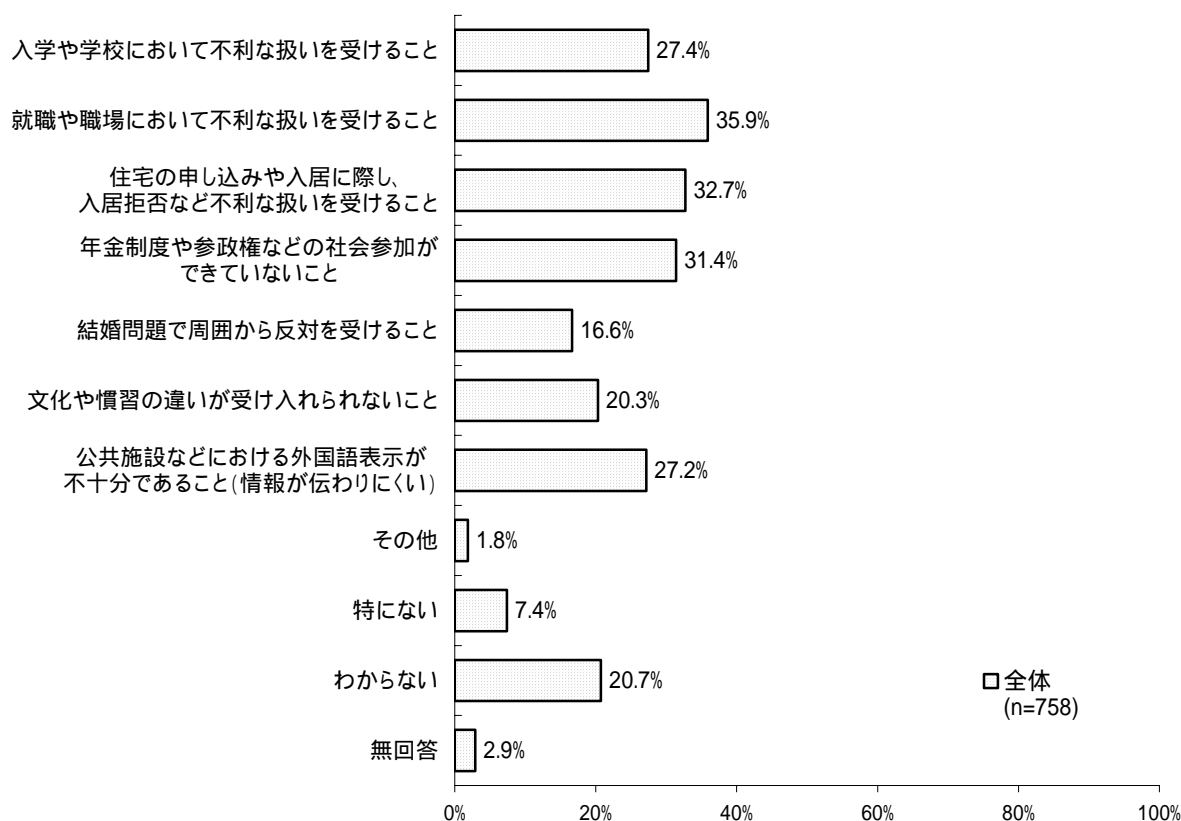
高齢者の人権が尊重されていないと思うものとしては、「道路の段差解消、エレベーターの設置など高齢者に配慮したまちづくりが十分でない」(49.7%)が最も多く半数近くを占め、「悪徳商法や詐欺の被害者になることが多い」(46.6%)、「病院での看護や介護施設での介護において、冷たく扱われたり虐待をうける」(40.4%)、「情報を高齢者にわかりやすい形にして伝える配慮が足りない」(39.4%)、「高齢者に対する保健、医療、福祉などのサービスが十分でない」(38.9%)と続く。

性別にみると、「病院での看護や介護施設での介護において、冷たく扱われたり虐待をうける」では男性が30.3%であるのに対し、女性は48.0%と非常に高く、17.7ポイントの差が見られた。

年齢別では、30代で「道路の段差解消、エレベーターの設置など高齢者に配慮したまちづくりが十分でない」が61.2%と高く、20～40代で「悪徳商法や詐欺の被害者になることが多い」がそれぞれ過半数を超えている。

外国人の人権について

問7 次のうち、あなたが「日本で暮らす外国人の人権が尊重されていない」と思うものはどれですか。
(複数回答可)

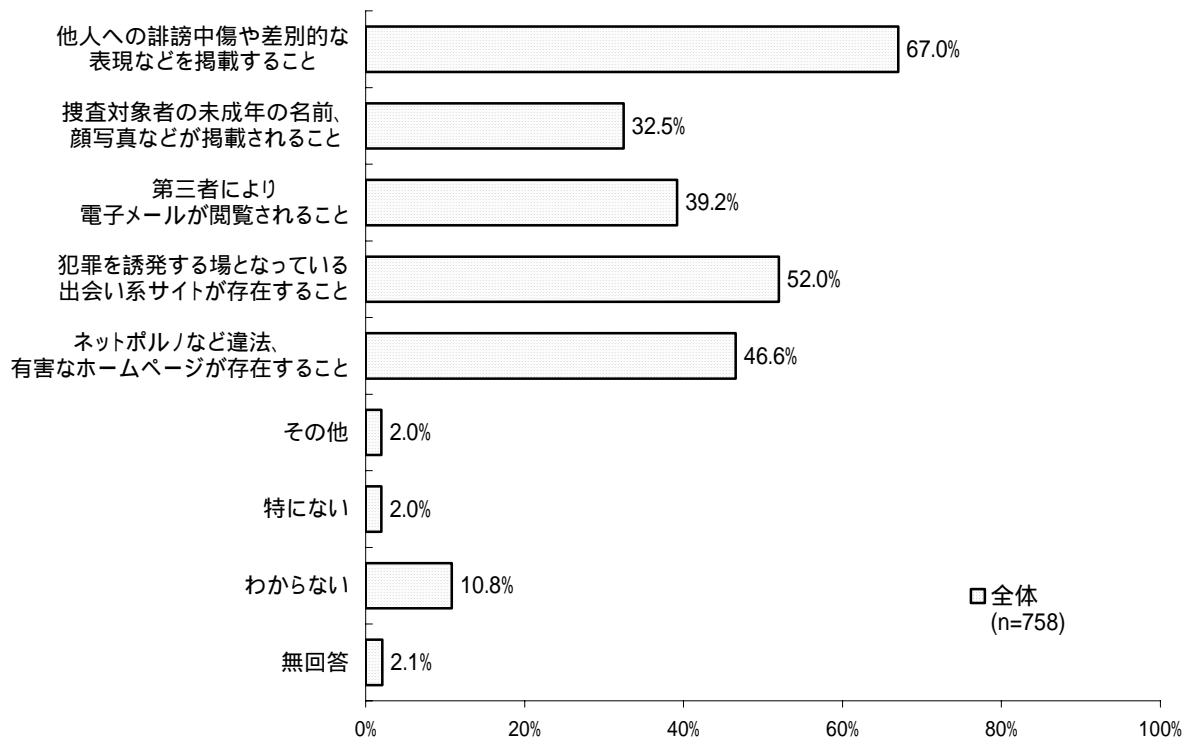


日本で暮らす外国人の人権が尊重されていないと思うものとしては、「就職や職場において不利な扱いを受けること」(35.9%)、「住宅の申し込みや入居に際し、入居拒否など不利な扱いを受けること」(32.7%)、「年金制度や参政権などの社会参加ができていないこと」(31.4%)でそれぞれ3割を超えている。

年齢別にみると、20代において割合が高い項目が多く見られ、特に「就職や職場において不利な扱いを受けること」では58.0%を占める一方、60代以上では「特にない」の割合が3割近くに上っている。

その他の人権について

問8 次のうち、あなたが「インターネット上で人権が尊重されていない」と思うものはどれですか。
(複数回答可)

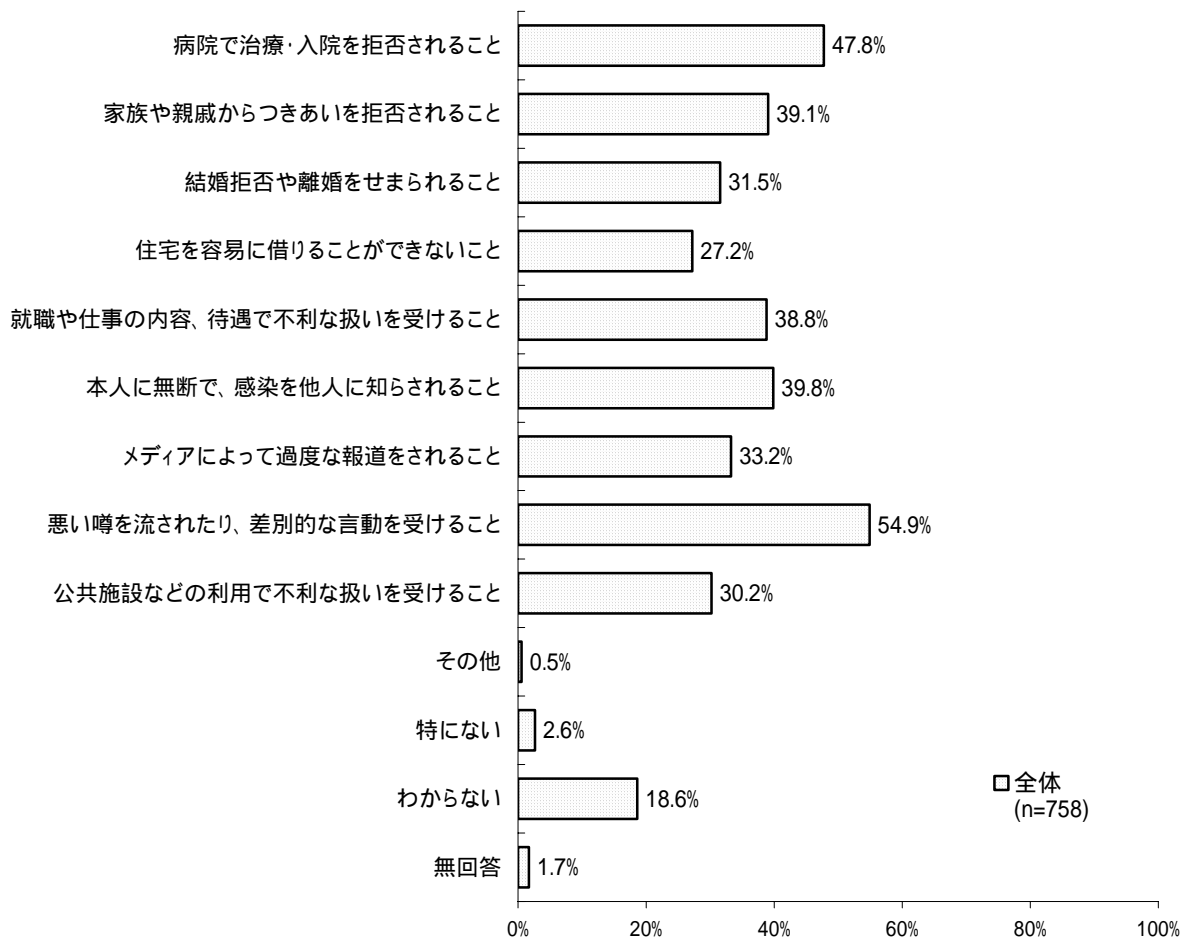


インターネット上で人権が尊重されていないと思うものとしては、「他人への誹謗中傷や差別的な表現などを掲載すること」が67.0%と最も高い。次いで「犯罪を誘発する場となっている出会い系サイトが存在すること」(52.0%)、「ネットポルノなど違法、有害なホームページが存在すること」(46.6%)となっている。

性別にみると、「ネットポルノなど違法、有害なホームページが存在すること」では、男性が39.7%であるのに対し、女性は51.8%と過半数を超えており、「捜査対象者の未成年の名前、顔写真などが掲載されること」においても女性(36.7%)が男性(27.3%)を10ポイント程度上回っている。

年齢別にみると、20～40代では「他人への誹謗中傷や差別的な表現などを掲載すること」は8割前後、20代で「第三者により電子メールが閲覧されること」が6割と若年層で高くなっている。その一方で「犯罪を誘発する場となっている出会い系サイトが存在すること」や「ネットポルノなど違法、有害なホームページが存在すること」は40代以上で過半数以上が多くなることから、年齢によって懸念する対象が異なることを示していることがわかる。

問9 次のうち、あなたが「エイズ患者、ハンセン病回復者などの人権が尊重されていない」と思うものはどれですか。(複数回答可)

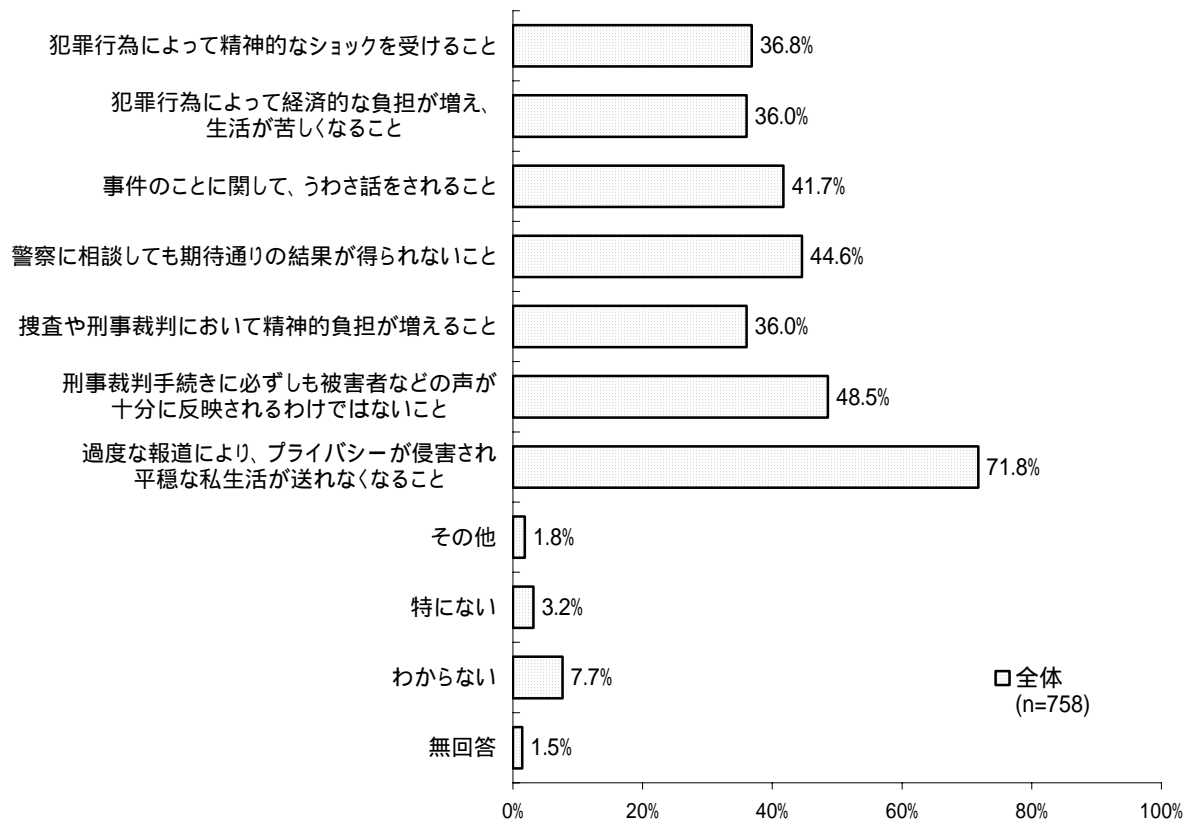


エイズ患者、ハンセン病回復者などの人権が尊重されていないと思うものとしては、「悪い噂を流されたり、差別的な言動を受けること」が54.9%と最も多く、「病院で治療・入院を拒否されること」(47.8%)、「本人に無断で、感染を他人に知らされること」(39.8%)、「家族や親戚からつきあいを拒否されること」(39.1%)、「就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いを受けること」(38.8%)などと続く。

性別にみると、「公共施設などの利用で不利な扱いを受けること」(男性23.9%、女性34.7%)、「病院で治療・入院を拒否されること」(男性42.1%、女性52.5%)、「本人に無断で、感染を他人に知らされること」(男性34.0%、女性44.4%)の3項目においては女性が男性を10ポイント程度上回っている。

年齢別では、若年層で割合が高くなっている項目が多く、特に「悪い噂を流されたり、差別的な言動を受けること」では20代で79.0%と非常に高い。

問10 次のうち、あなたが「犯罪被害者などの人権が尊重されていない」と思うものはどれですか。
(複数回答可)

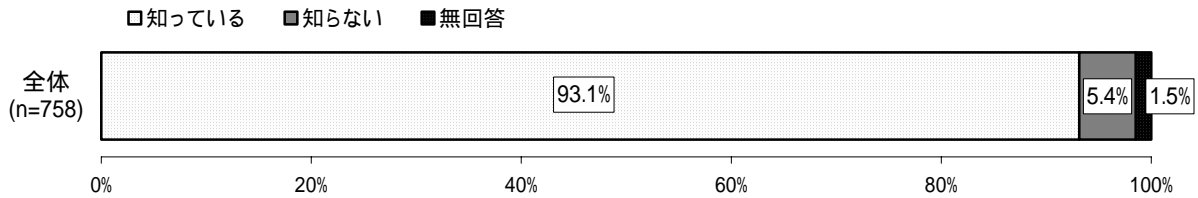


犯罪被害者などの人権が尊重されていないと思うものとしては、「過度な報道により、プライバシーが侵害され平穏な私生活が送れなくなること」が71.8%と他と大きく差をつけて多くなっている。「刑事裁判手続きに必ずしも被害者などの声が十分に反映されるわけではないこと」(48.5%)、「警察に相談しても期待通りの結果が得られないこと」(44.6%)、「事件のことにに関して、うわさ話をされること」(41.7%)もそれぞれ4割以上に上る。

年齢別にみると、「過度な報道により、プライバシーが侵害され平穏な私生活が送れなくなること」では特に30～40代で8割超と非常に高く、他の年代においても過半数を超えている。

同和問題について

問 1 1 あなたは、日本の社会に、同和問題や部落問題などと呼ばれている差別の問題があることを知っていますか。あてはまるものに をつけてください。(は1つのみ)

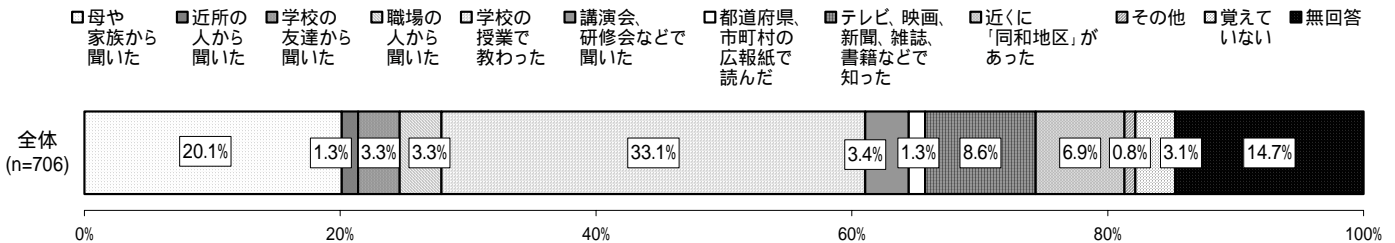


同和問題や部落問題などと呼ばれている差別問題があることを「知っている」と答えた割合は 93.1% 上り、「知らない」はわずか 5.4%にとどまった。

性別・年齢別ともに大きな差は見られず、属性に関係なく同和問題や部落問題といった差別についての認知度が高いことがわかる。

【問 1 1 で「知っている」と答えた方にお聞きします。】

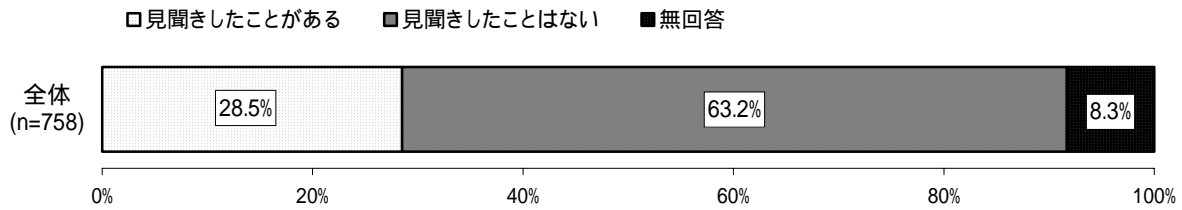
問 1 1 - 1 そのことを初めて知ったのは、どういうことからですか。(は1つのみ)



同和問題や部落問題などについて初めて知ったきっかけをたずねたところ、「学校の授業で教わった」が 33.1%と最も多く、次いで「母や家族から聞いた」(20.1%)、「テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍などで知った」(8.6%)、「近くに『同和地区』があった」(6.9%)などと続く。

年齢別にみると、50代以上では「母や家族から聞いた」、60代以上では「テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍などで知った」がそれぞれ高くなっているのに対し、20~40代では「学校の授業で教わった」が5~6割を占めている。学校での人権教育が浸透してきたことを示していることがわかる。

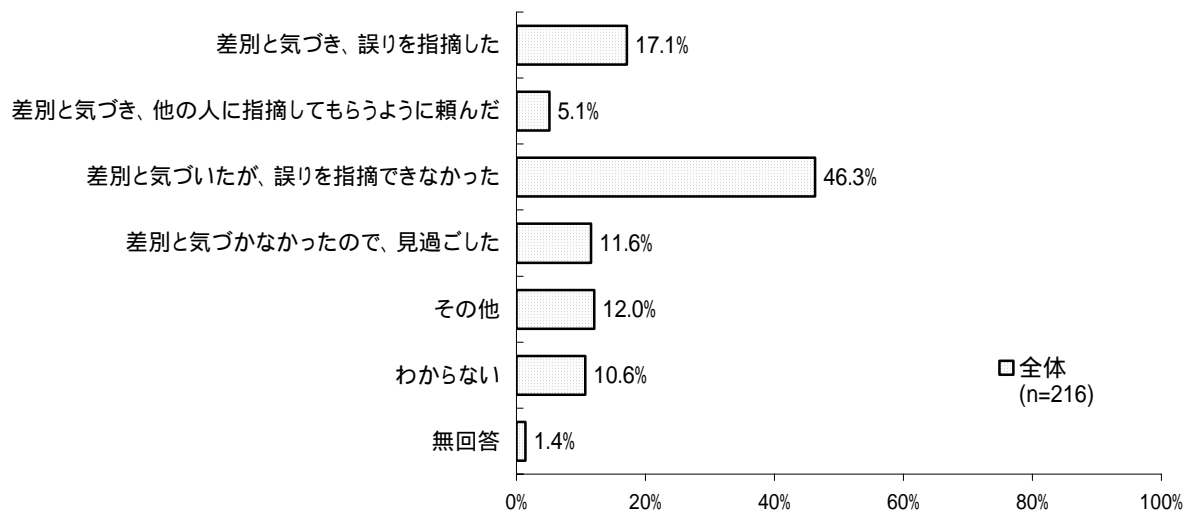
問12 あなたは、同和地区の人に対する差別的な言動や落書きを見聞きしたことがありますか。あてはまるものを選んでください。(は1つのみ)



同和地区の人に対する差別的な言動や落書きを「見聞きしたことがある」と答えた割合は 28.5%であったのに対し、「見聞きしたことはない」は 63.2%と 6 割以上を占めた。

【問12で「見聞きしたことがある」と答えた方にお聞きします。】

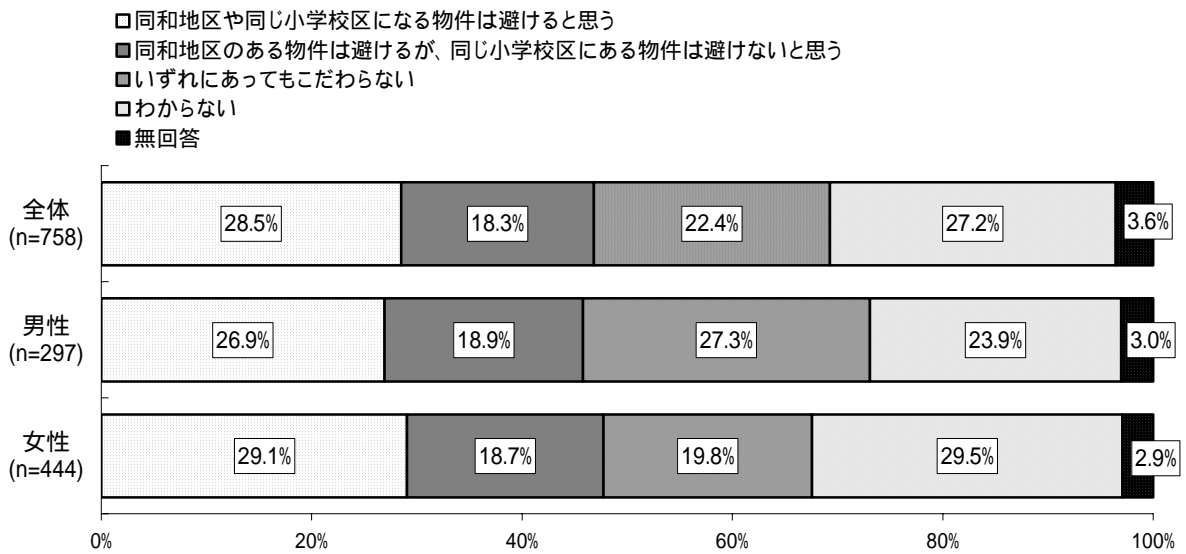
問12-1 その時、あなたはどのようにされましたか。(複数回答可)



同和地区の人に対する差別的な言動や落書きを見聞きした時、どう対処したかについてたずねたところ、「差別と気づいたが、誤りを指摘できなかった」が 46.3%と他を大きく差をつけて多くなっている。一方、「差別を気づき、誤りを指摘した」(17.1%)、「差別と気づき、他の人に指摘してもらうように頼んだ」(5.1%)といった何らかの行動を起こした割合は合わせて 22.2%であった。

年齢別にみると、「差別と気づいたが、誤りを指摘できなかった」は 20代で 66.7%、40代で 59.6%と高いのに対し、50~60代では「差別と気づき、誤りを指摘した」がそれぞれ 25.0%と高くなっている。

問13 もし、あなたが家を購入したり、マンションを借りたりするなど住宅を選ぶ際、同和地区や同和地区と同じ小学校区にある物件は避けると思いますか。(は1つのみ)

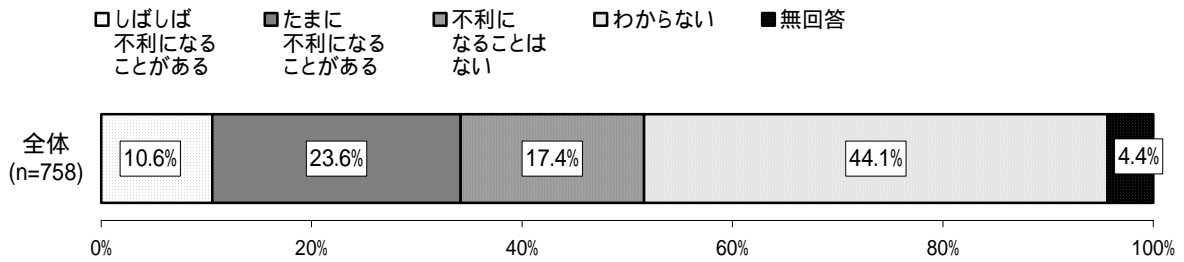


住宅を選ぶ際に同和地区や同和地区と同じ小学校区にある物件を避けるかどうかについては、「同和地区や同じ小学校区になる物件は避けると思う」は28.5%、「いずれにあってもこだわらない」は22.4%となっている。

性別にみると、「いずれにあってもこだわらない」で男性(27.3%)が女性(19.8%)をやや上回っている。

年齢別にみると、「同和地区や同じ小学校区になる物件は避けると思う」は40代で34.9%、「同和地区のある物件は避けるが、同じ小学校区にある物件は避けないと思う」は30代で26.3%と、いずれも子育て世代と考えられる年代において高くなっている。一方、「いずれにあってもこだわらない」は70代で33.8%と他の年代に比べて高い。

問14 現在、同和地区の人たちは、就職するときに不利になることがあると思いますか。あてはまるものをつけてください。(は1つのみ)

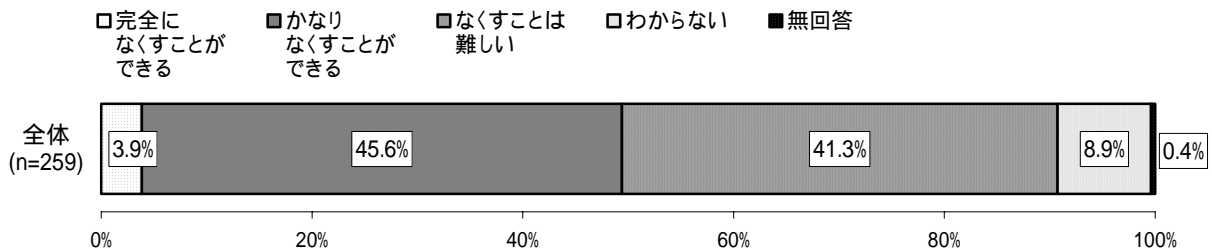


同和地区の人たちが就職時に不利になることがあると思うかについては、「わからない」が44.1%と最も高い。「しばしば不利になることがある」は10.6%、「たまに不利になることがある」は23.6%を占める一方、「不利になることはない」は17.4%となっている。

年齢別にみると、「不利になることがある(「しばしば不利になることがある」と「たまに不利になることがある」の合計)」は、20代で44.4%と非常に多い。一方、「不利になることはない」は60代で25.8%と最も高くなっている。

【問14で「しばしば不利になることがある」または「たまに不利になることがある」と答えた方にお聞きします。】

問14-1 それは、近い将来、なくすことができますか。(は1つのみ)

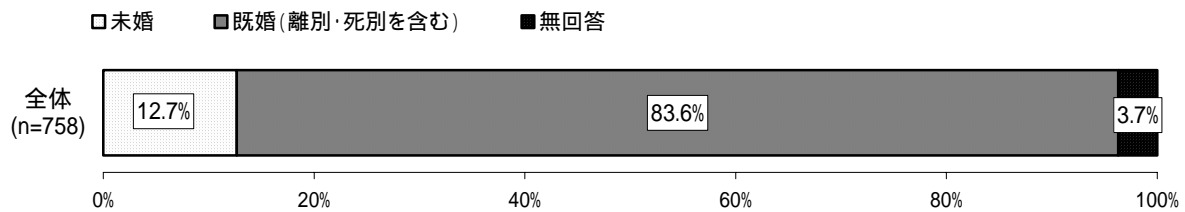


同和地区の人たちが就職時に不利になることがあると思うと答えた人に対して、そういった差別を近い将来になくすことができるかどうかについてたずねたところ、「かなりなくすことができる」が45.6%と最も多くなっている。しかし、ほぼ同率で「なくすことは難しい」も41.3%を占めており、意見が大きく分かれた。

年齢別にみると、「かなりなくすことができる」は70代で72.0%と非常に高くなっており、若年層の方が「なくすことは難しい」の割合がやや高い傾向が見られた。

問15 あなたの結婚相手を考える際、相手の人柄や性格以外で気になること（気になったこと）についてお聞きします。

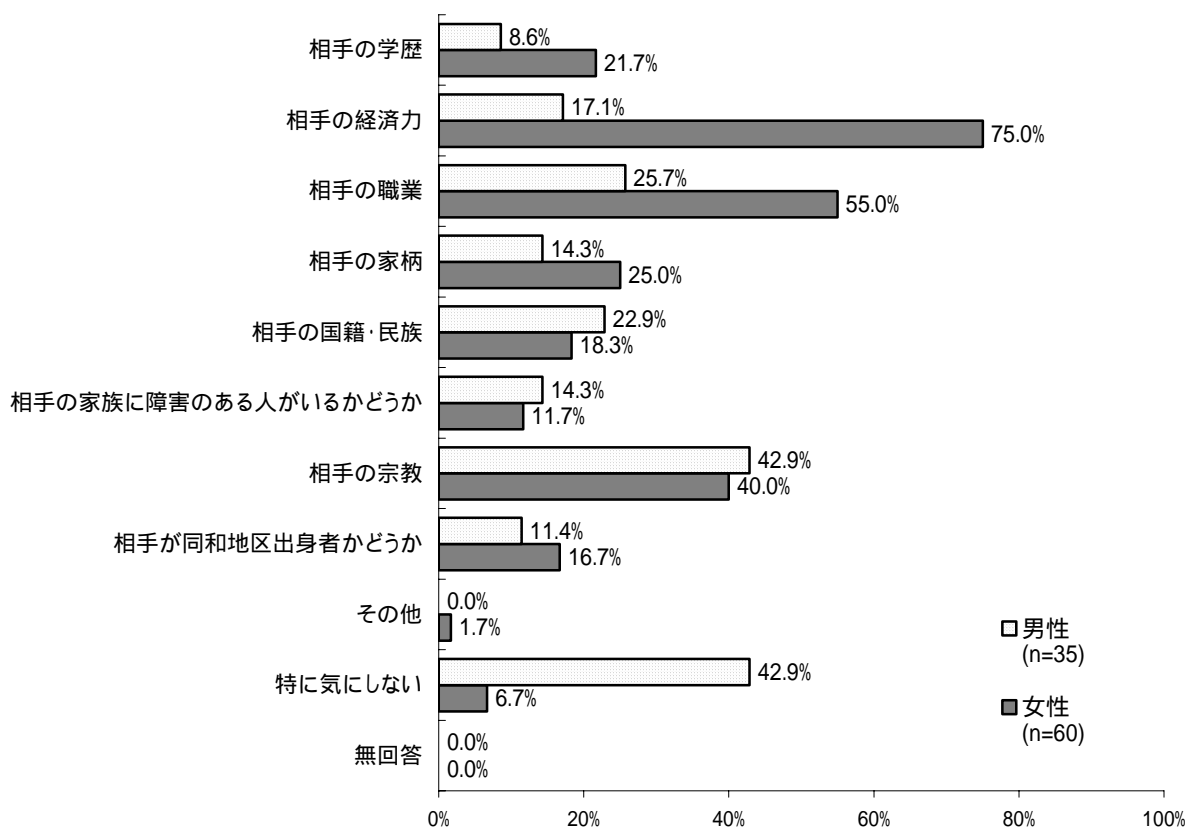
(1) あなたは結婚されていますか。(は1つのみ)



既婚者(離別・死別を含む)は83.6%、未婚者は12.7%となっている。

【問15(1)で「未婚」と答えた方にお聞きします。】

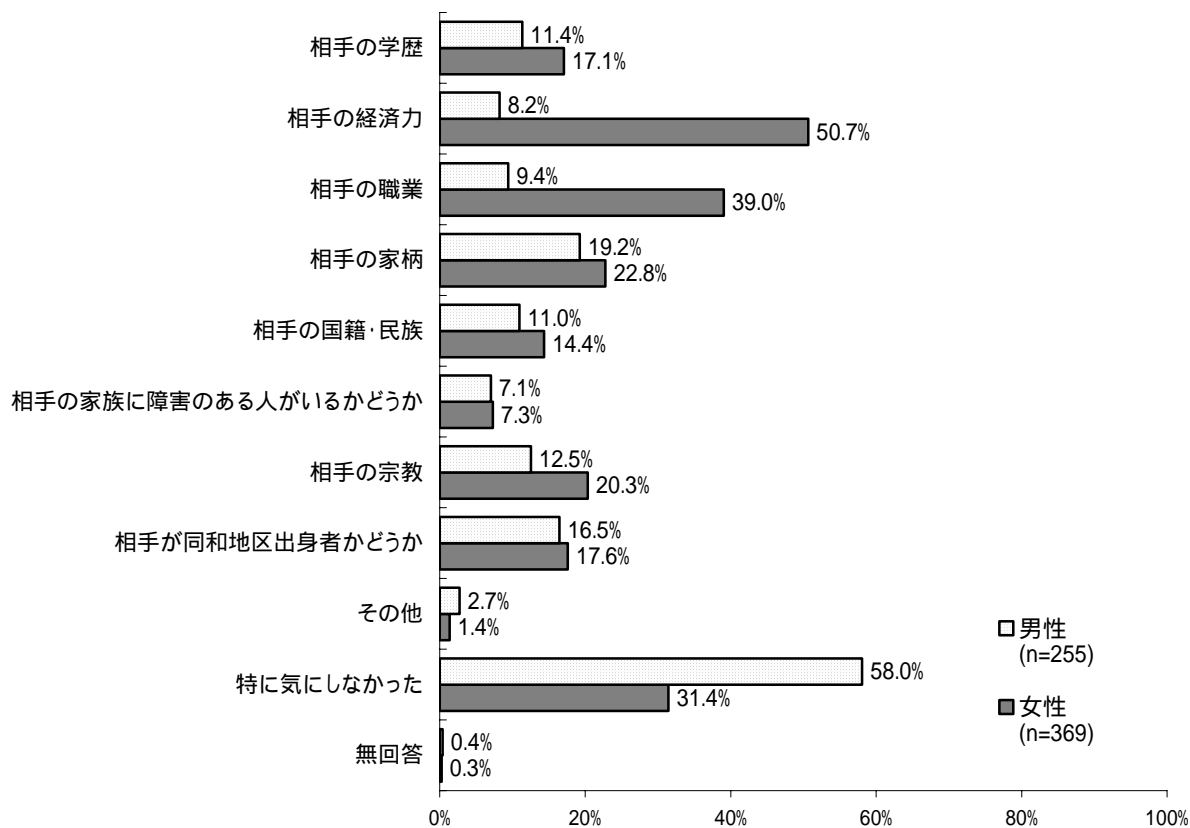
(2) 気になること、気になると思うことをお答えください。(複数回答可)



未婚者に対して、結婚相手を考える際、相手の人柄や性格以外で気になること、気になると思うことをたずねたところ、女性では「相手の経済力」が75.0%、「相手の職業」が55.0%と高いのに対して、男性は「特に気にしない」が42.9%と非常に高くなっている。また、男女ともに気になることとしては「相手の宗教」がそれぞれ4割程度を占めている。

【問15(1)で「既婚(離別・死別を含む)」と答えた方にお聞きします。】

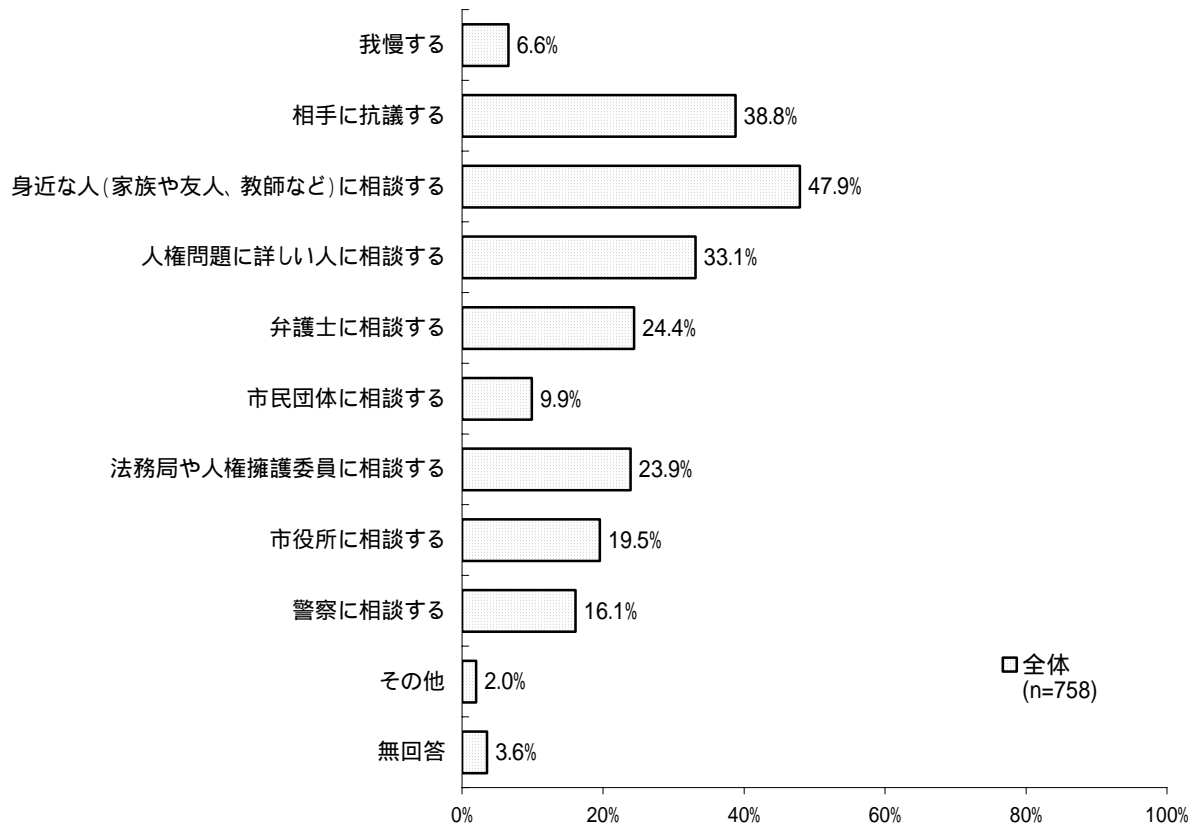
(3)実際に気になったことをお答えください。(複数回答可)



既婚者に対して、結婚相手を考えた際、相手の人柄や性格以外で実際に気になったことをたずねたところ、女性で最も多かったのは「相手の経済力」で50.7%、次いで「相手の職業」(39.0%)、「相手の家柄」(22.8%)、「相手の宗教」(20.3%)などと続く。「特に気にしなかった」の割合は、前問における未婚者の回答(6.7%)と比べると31.4%と大きく増加している。また、男性については「特に気にしなかった」は58.0%と6割近くに上り、相手の人柄や性格のみで結婚相手を考えた人が多いことがわかる。

人権侵害について

問16 もし、あなたや家族の方が人権侵害を受けたら、どのように対応しますか。あてはまるものに3つ以内で をつけてください。



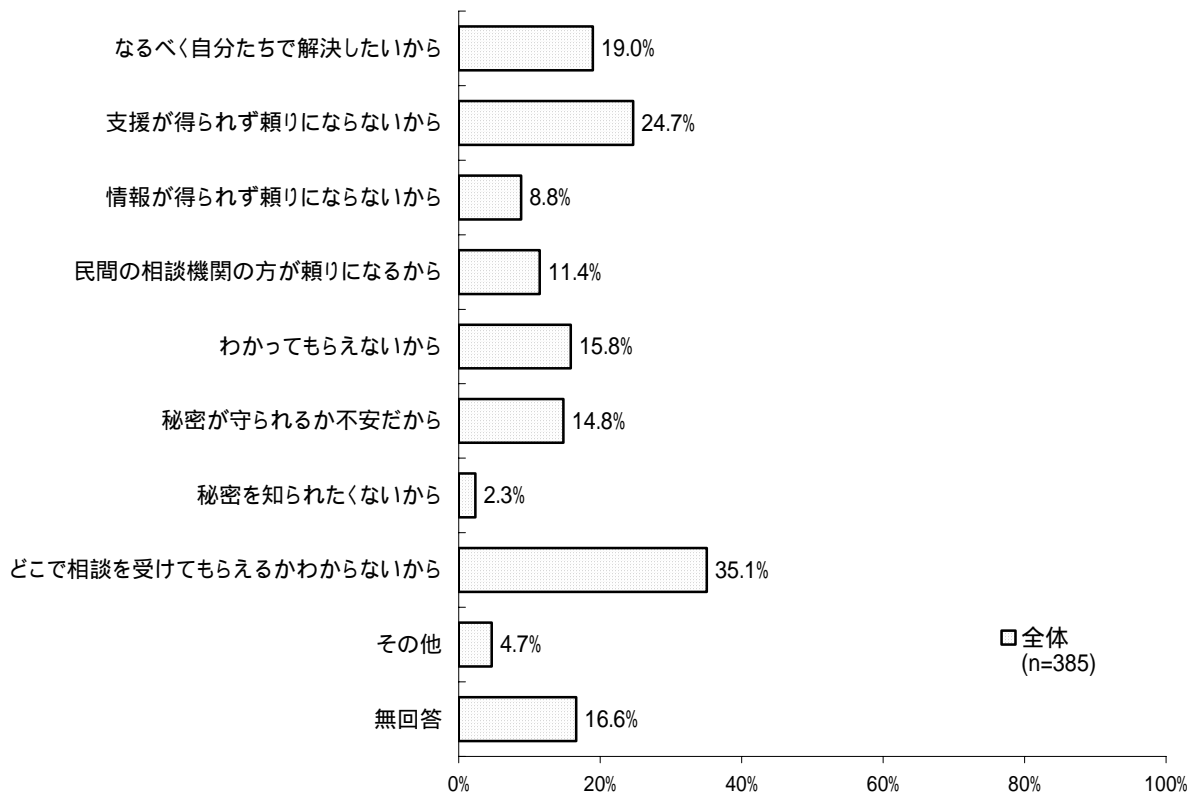
回答者本人または家族が人権侵害を受けた場合の対処方法としては、「身近な人（家族や友人、教師など）に相談する」が47.9%と最も多く、半数近くを占めた。「相手に抗議する」（38.8%）、「人権問題に詳しい人に相談する」（33.1%）もそれぞれ3割以上を占めている。

性別にみると、「法務局や人権擁護委員に相談する」（男性31.3%、女性19.1%）、「弁護士に相談する」（男性31.0%、女性20.3%）では男性の割合が高い一方、「身近な人（家族や友人、教師など）に相談する」（男性36.7%、女性56.3%）では女性が男性の割合を大きく上回っている。

年齢別にみると、公的機関（法務局や人権擁護委員、市役所、警察）に相談すると答えた割合は、50代以上で5～6割以上と高いのに対し、若年層では低くなっている。

【問16で「法務局や人権擁護委員に相談する」・「市役所に相談する」・「警察に相談する」のいずれの項目にも をしなかった方にお聞きします。】

問17 公的機関に相談しようとならないのはなぜですか。あてはまるもの に つけてください。
(複数回答可)



公的機関に相談しようとならない理由についてたずねたところ、最も多かったのは「どこで相談を受けてもらえるかわからないから」で35.1%であった。次いで「支援が得られず頼りにならないから」(24.7%)、「なるべく自分たちで解決したいから」(19.0%)と続く。

性別にみると、「どこで相談をうけてもらえるかわからないから」が男性では27.5%であるのに対し、女性では40.9%と多い。逆に「なるべく自分たちで解決したいから」(男性21.7%、女性17.7%)の割合が、わずかではあるが男性の方が多くなっている。

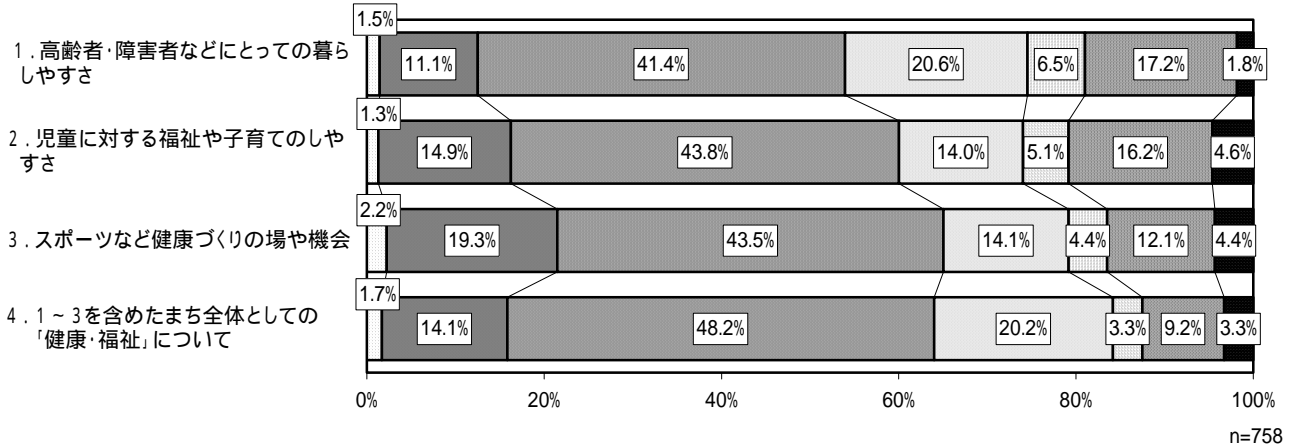
年齢別にみると、20~40代では「どこで相談を受けてもらえるかわからないから」が4割超と高く、50~70代では「なるべく自分たちで解決したいから」が3割前後と高くなっている。

市政全般に関連した内容について

問 18 あなたは、現在の河内長野市の生活環境についてどの程度満足されていますか。次の各項目についてあなたのお考えに近い番号に をつけてください。

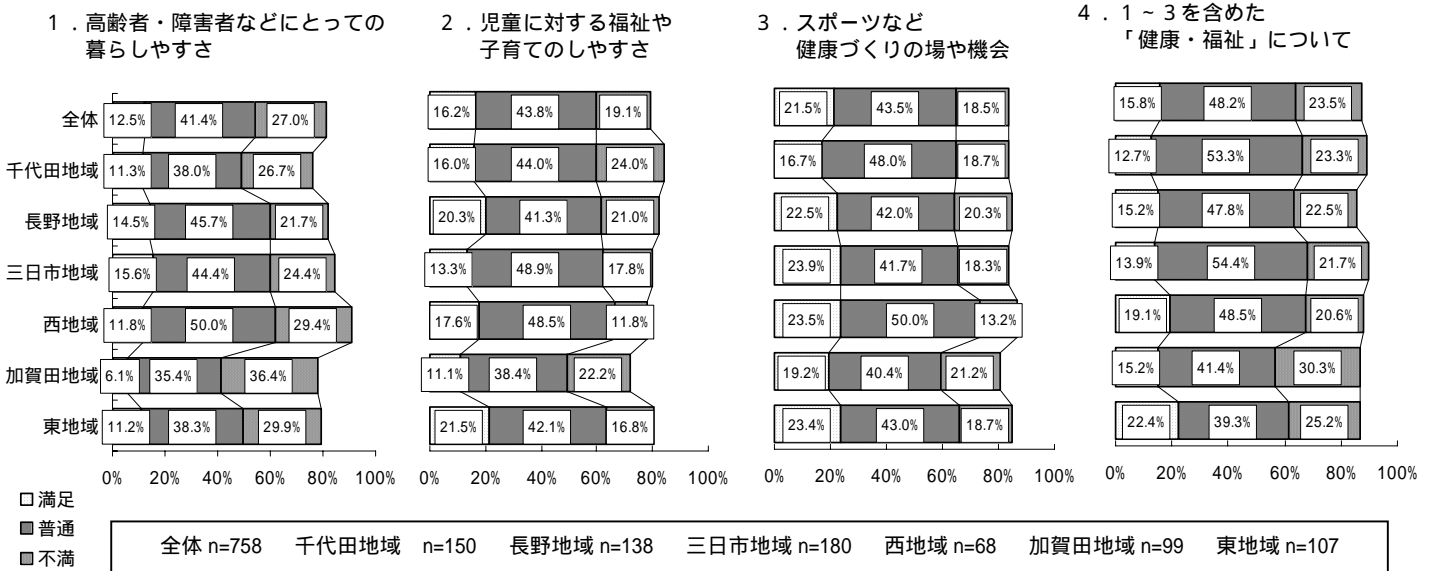
< 健康・福祉 >

□非常に満足 ■やや満足 □普通 □やや不満 □非常に不満 □わからない ■無回答



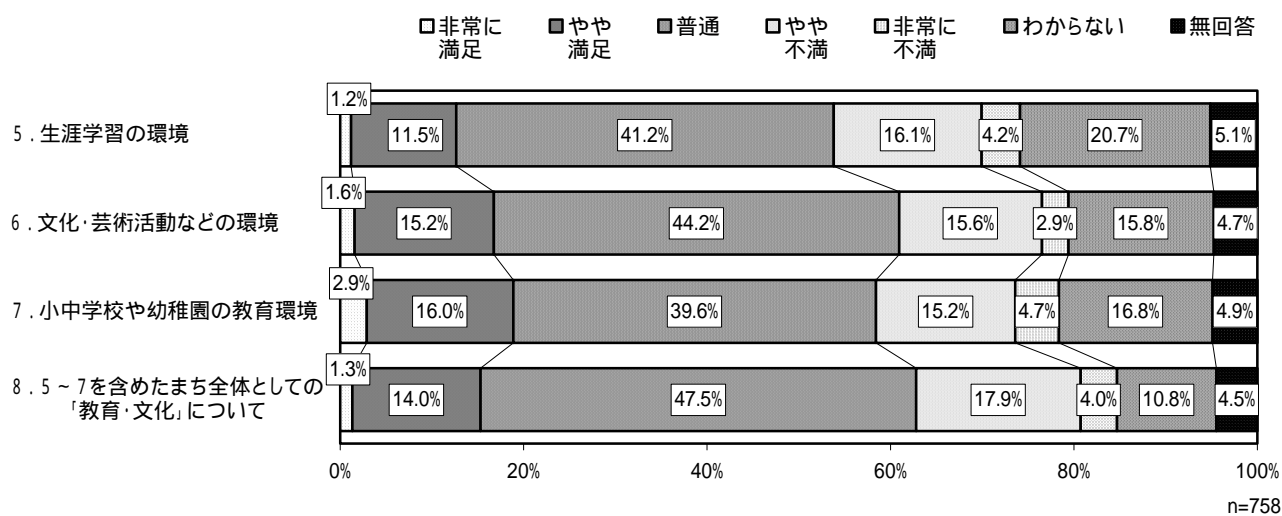
まち全体としての「健康・福祉」については、「普通」が 48.2%と最も高く、「不満」(「やや不満」と「非常に不満」の合計)は 23.5%、「満足」(「非常に満足」と「やや満足」の合計)は 15.8%となっている。「スポーツなど健康づくりの場や機会」に対する「満足」は 21.5%とやや高い。

【地域別】



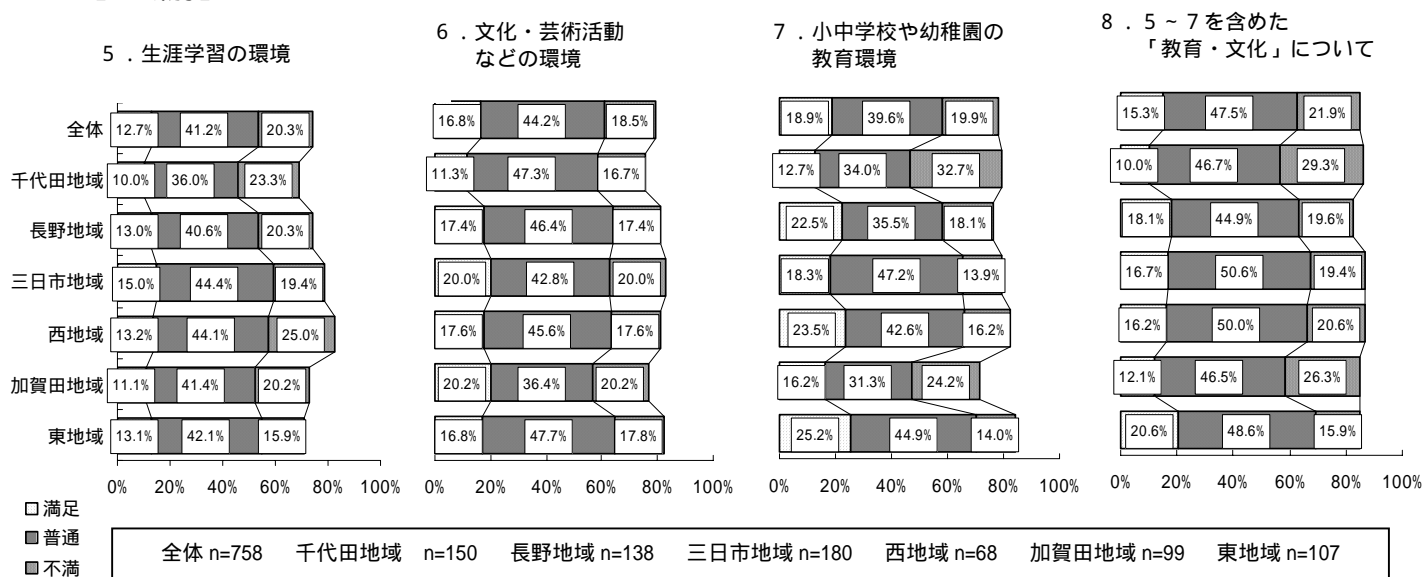
地域別にみると、「児童に対する福祉や子育てのしやすさ」では長野地域(20.3%)、東地域(21.5%)で「満足」の割合がやや高い。一方、「不満」は「高齢者・障害者などにとっての暮らしやすさ」では加賀田地域(36.4%)、「児童に対する福祉や子育てのしやすさ」では千代田地域(24.0%)でやや高くなっている。

<教育・文化>



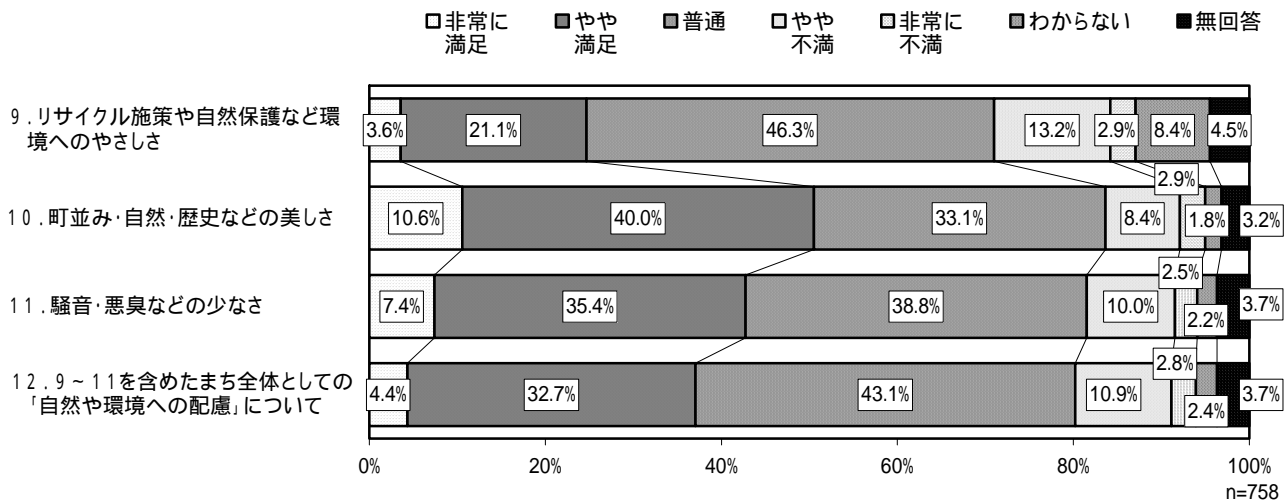
まち全体としての「教育・文化」については、「普通」が最も高く 47.5%を占め、「満足」は 15.3%、「不満」は 21.9%となっている。項目別に「満足」の割合をみると、「小中学校や幼稚園の教育環境」は 18.9%、「文化・芸術活動などの環境」は 16.8%、「生涯学習の環境」は 12.7%となっている。

【地域別】



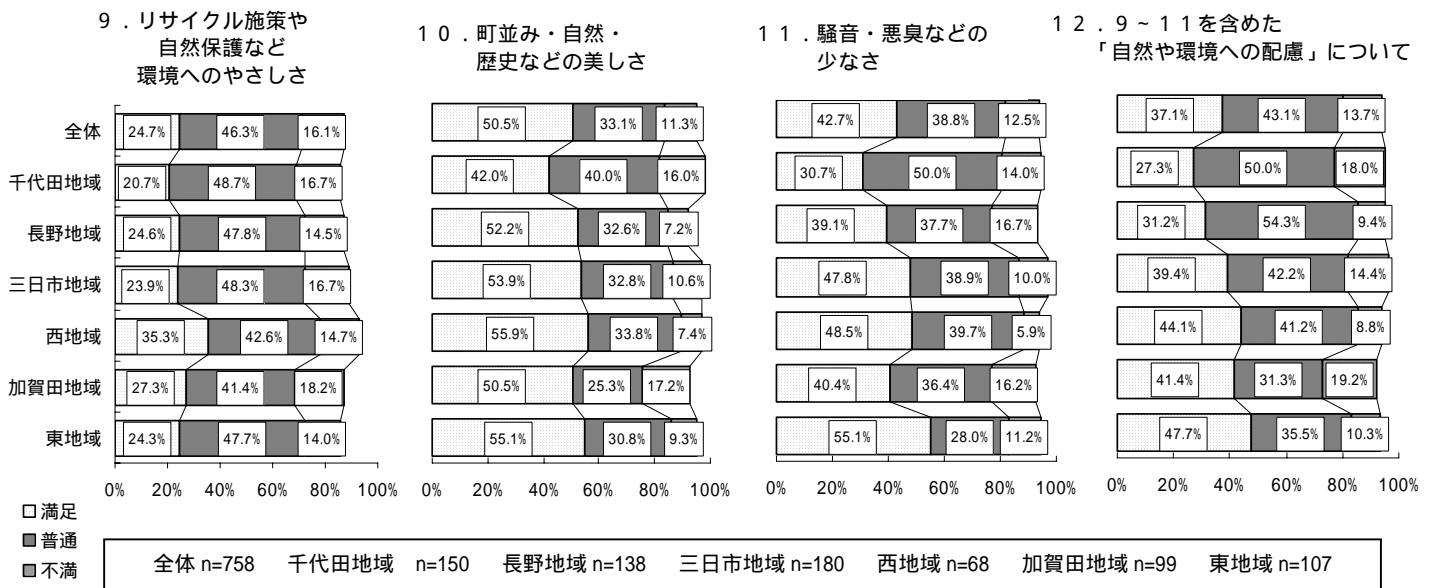
地域別にみると、「満足」の割合は「文化・芸術活動などの環境」で三日市地域（20.0%）と加賀田地域（20.2%）、「小中学校や幼稚園の教育環境」で東地域（25.2%）西地域（23.5%）長野地域（22.5%）でそれぞれ若干高くなっている。逆に「不満」の割合をみると、「生涯学習の環境」で西地域（25.0%）「小中学校や幼稚園の教育環境」では千代田地域（32.7%）で多い。

< 自然や環境への配慮 >



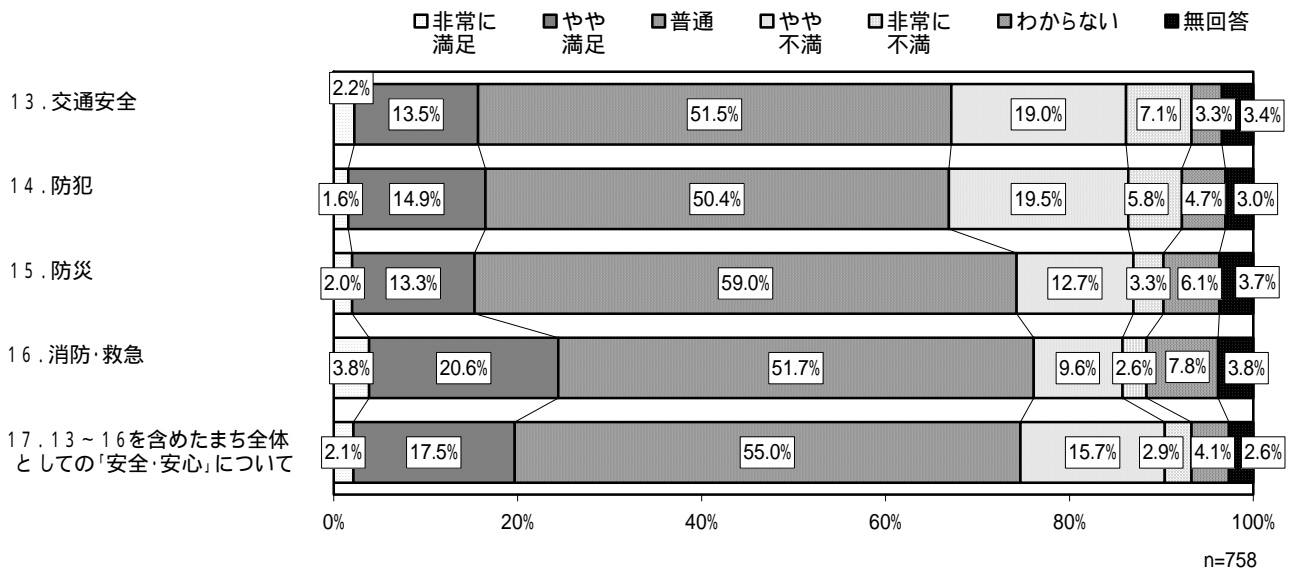
「満足」の割合をみると、「町並み・自然・歴史などの美しさ」は 50.6%と過半数を超え、「騒音・悪臭などの少なさ」においても 42.8%を占めている。一方、「リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ」については 24.7%と低く、「普通」が 46.3%と多数を占める。

【地域別】



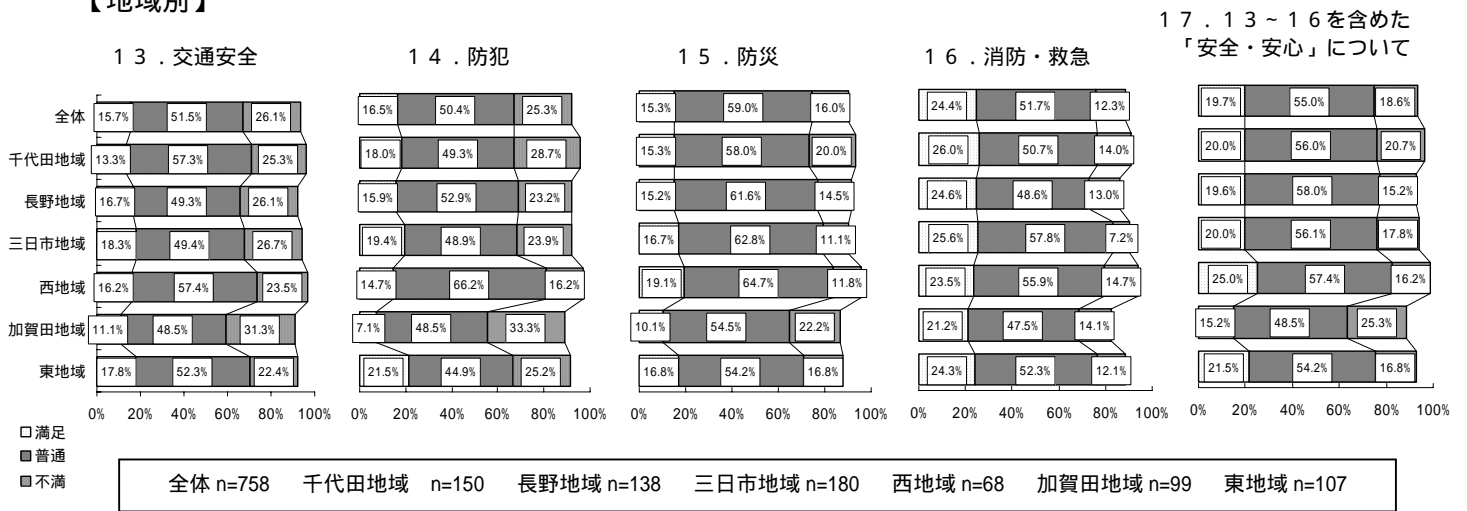
地域別にみると、「満足」は「リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ」では西地域(35.3%)、「騒音・悪臭などの少なさ」では東地域(55.1%)、「町並み・自然・歴史などの美しさ」においては千代田地域を除いた地域で5割を超え、満足度が高くなっている。まち全体としての「自然や環境への配慮」については、「満足」が高かったのは東地域で47.7%、逆に「不満」が高かったのは加賀田地域(19.2%)と千代田地域(18.0%)であった。

<安全・安心>



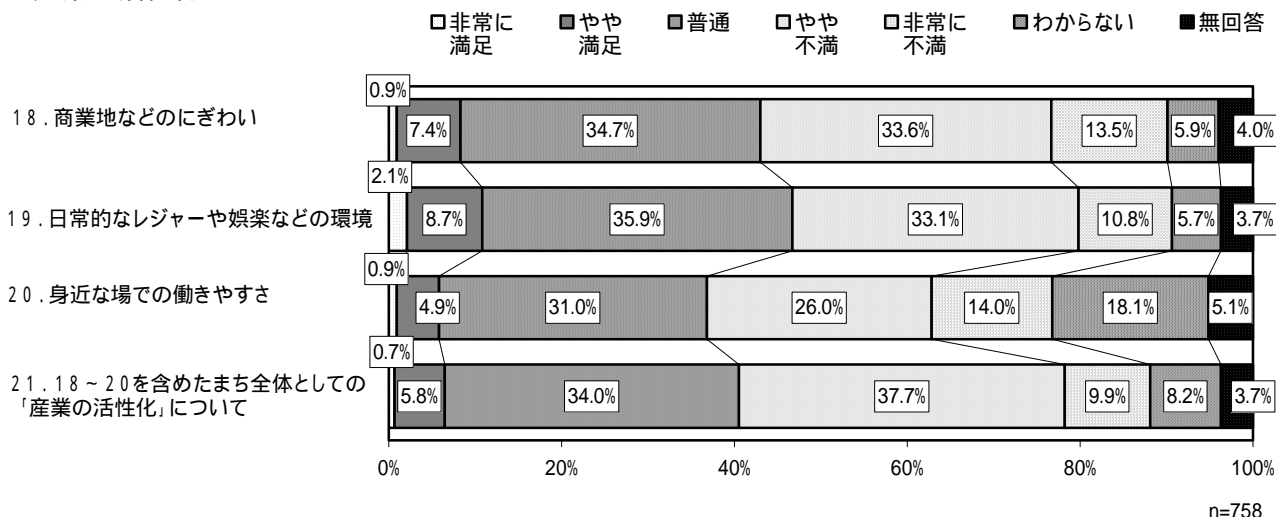
まち全体の「安全・安心」については「普通」が55.0%と半数を超え、「満足」が19.6%、「不満」が18.6%となっている。項目別にみると、「満足」が高いのは「消防・救急」で24.4%、逆に「不満」が高いのは「交通安全」で26.1%であった。

【地域別】



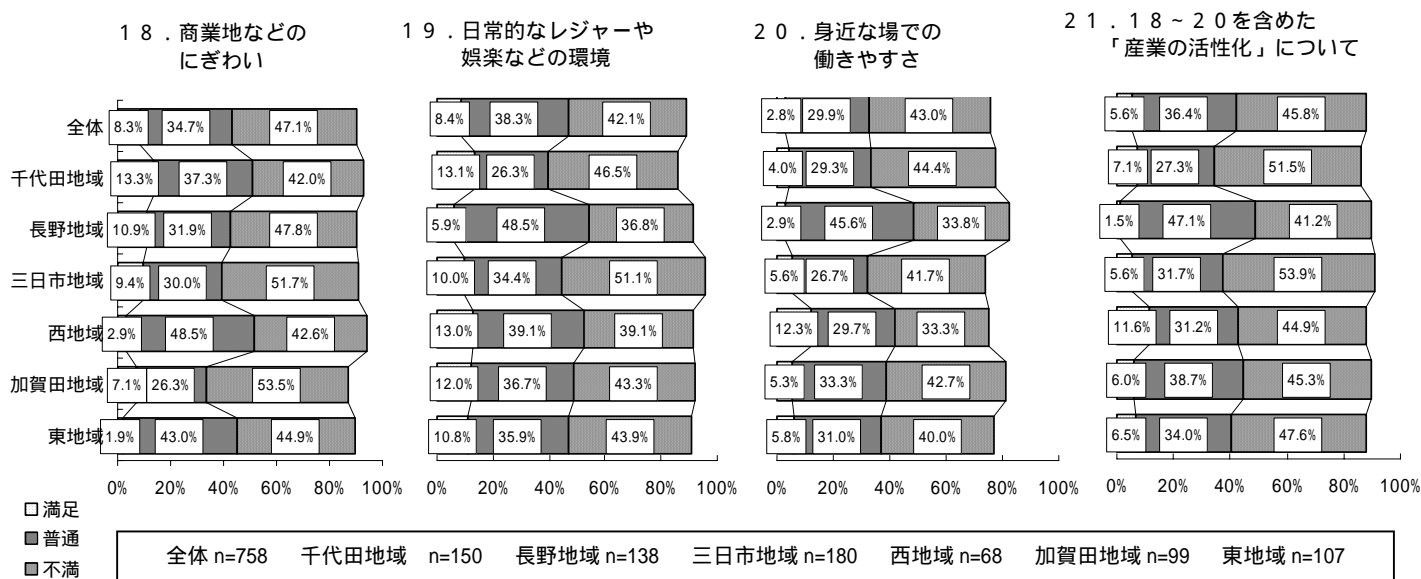
地域別にみると、まち全体としての「安全・安心」については「満足」が高かったのは西地域(25.0%)、逆に「不満」が高かったのは加賀田地域(25.3%)であった。加賀田地域は「不満」の割合が「防犯」で33.3%、「交通安全」で31.3%、「防災」でも22.2%と他の地域に比べて高くなっている。

< 産業の活性化 >



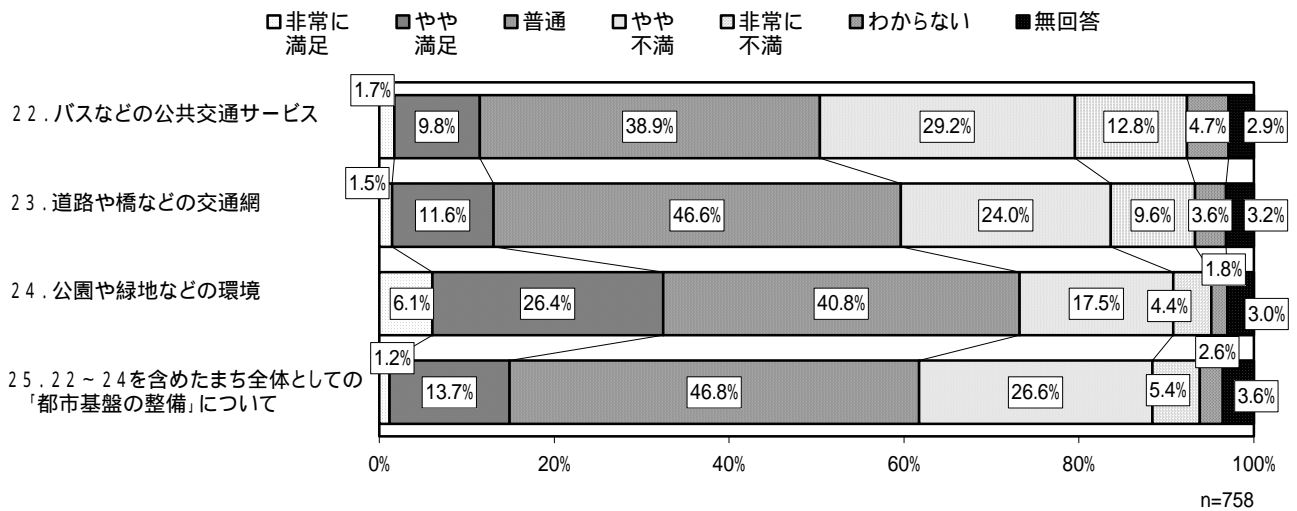
産業の活性化については、全体的に「不満」の割合が多くなっている。まち全体としての「産業の活性化」については、「満足」は6.5%にとどまり、「不満」が47.6%と半数近くに上る。特に「身近な場での働きやすさ」では「満足」の割合は5.8%と最も低い。

【地域別】



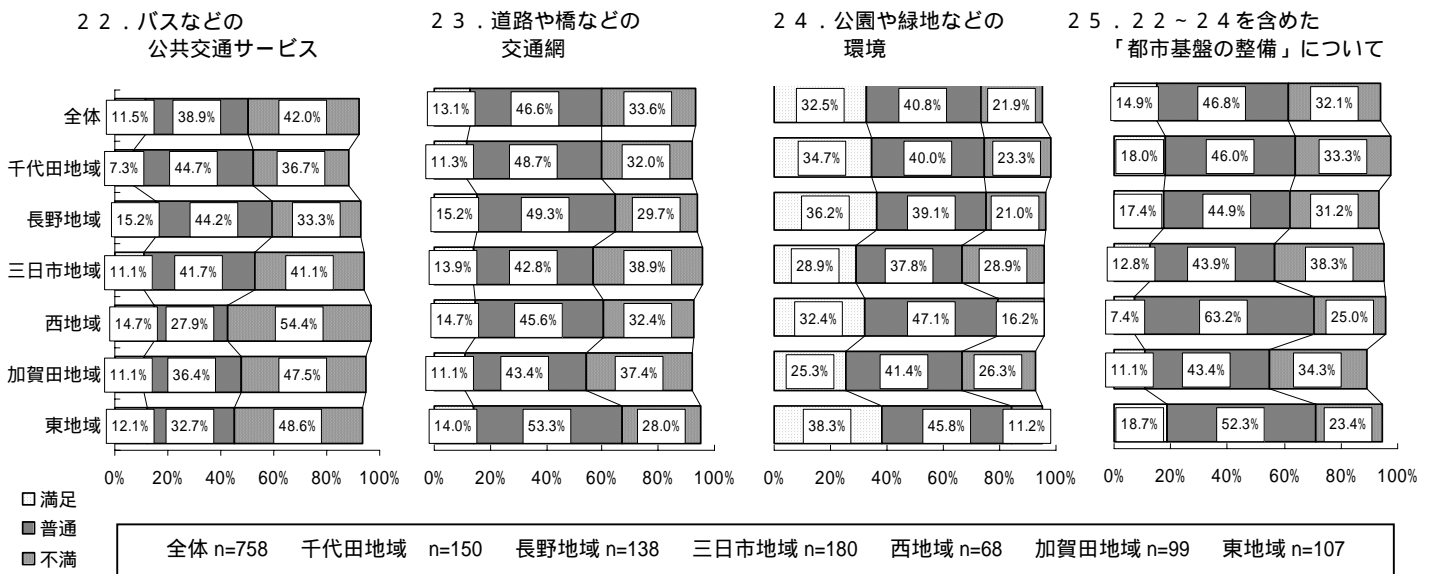
どの地域においても、まち全体としての「産業の活性化」についての「満足」は低く、「不満」は5割前後に上る。項目別に「満足」の割合をみると、「商業地などのにぎわい」と「日常的なレジャーや娯楽などの環境」の2項目においては千代田地域がやや高く、「身近な場での働きやすさ」では西地域が12.3%と高い。

< 都市基盤の整備 >



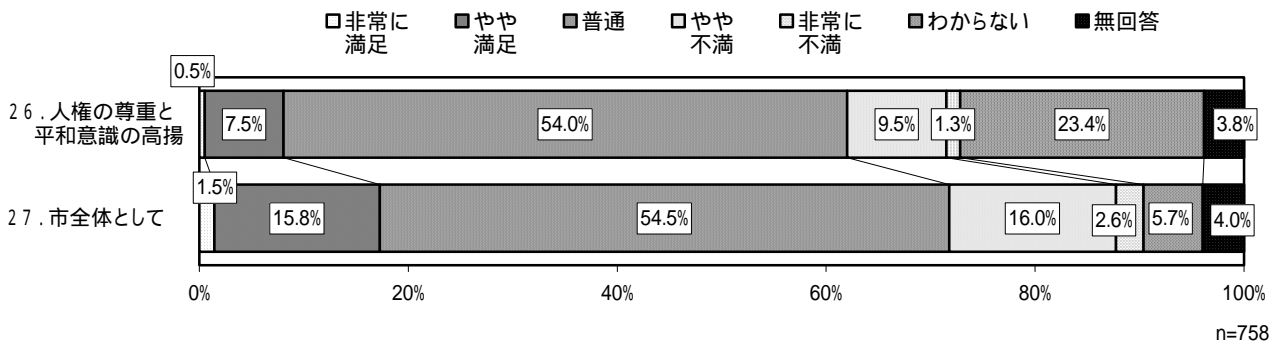
都市基盤の整備については、「公園や緑地などの環境」において「満足」が32.5%と高くなっている。逆に「バスなどの公共交通サービス」では「不満」が42.0%に上る。まち全体としての「都市基盤の整備」では、「普通」が46.8%と半数を占め、「満足」が14.9%、「不満」が32.0%となっている。

【地域別】



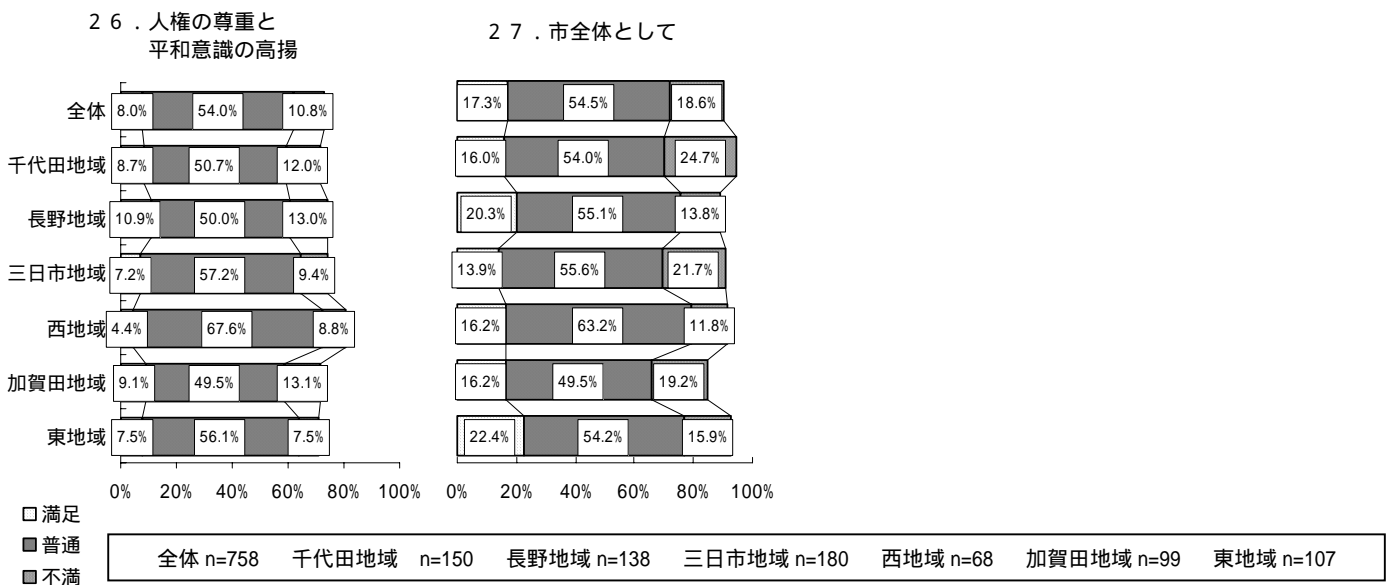
地域別にみると、「バスなどの公共交通サービス」では「不満」が西、加賀田、東地域では約半数を占め、特に西地域では54.4%と最も高くなっている。一方、「公園や緑地などの環境」では「満足」が3割超を占める地域が多く、東地域では38.3%を占めている。

<その他>



「人権の尊重と平和意識の高揚」については、「普通」が54.0%と過半数を占め、「満足」は8.0%、「不満」は10.8%となっている。また、「わからない」の割合が23.4%と非常に高くなっている。「市全体として」の項目では、「普通」が54.5%と半数以上を占めており、「満足」が17.3%、「不満」が18.6%とそれぞれほぼ同率となっている。

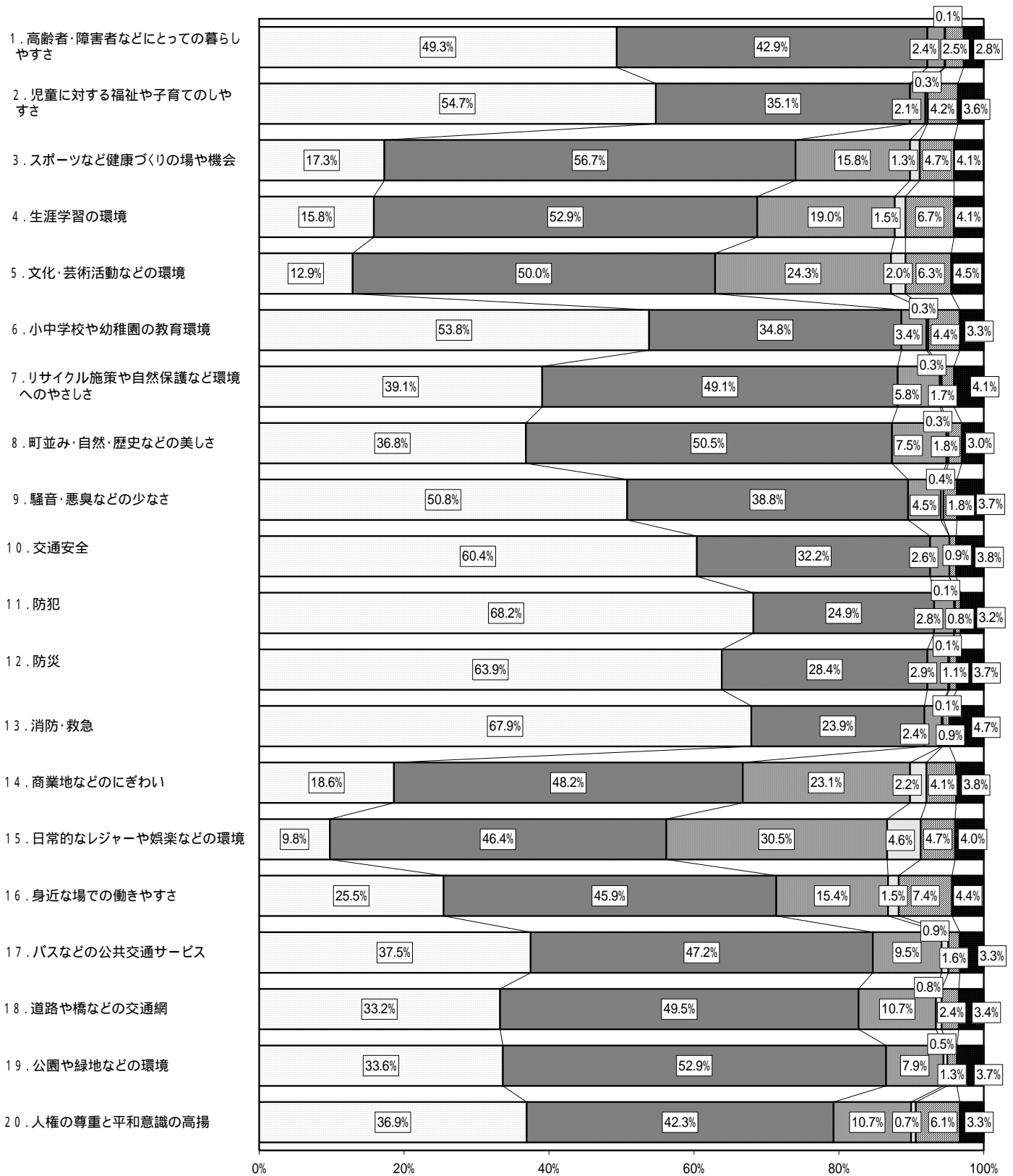
【地域別】



地域別にみると、「人権の尊重と平和意識の高揚」では、ほぼ全ての地域において「満足」が1割前後にとどまり、西地域では4.4%と最も低くなっている。「市全体として」では、「満足」が東地域で22.4%、長野地域で20.3%と高い。逆に「不満」が多いのは、千代田地域(24.7%)や三日市地域(21.7%)であった。

問19 あなたは、次のそれぞれについて、どの程度重要だと思われますか。各項目についてあなたのお考えに近い番号に をつけてください。

□非常に重要 □やや重要 □あまり重要ではない □重要でない □わからない ■無回答

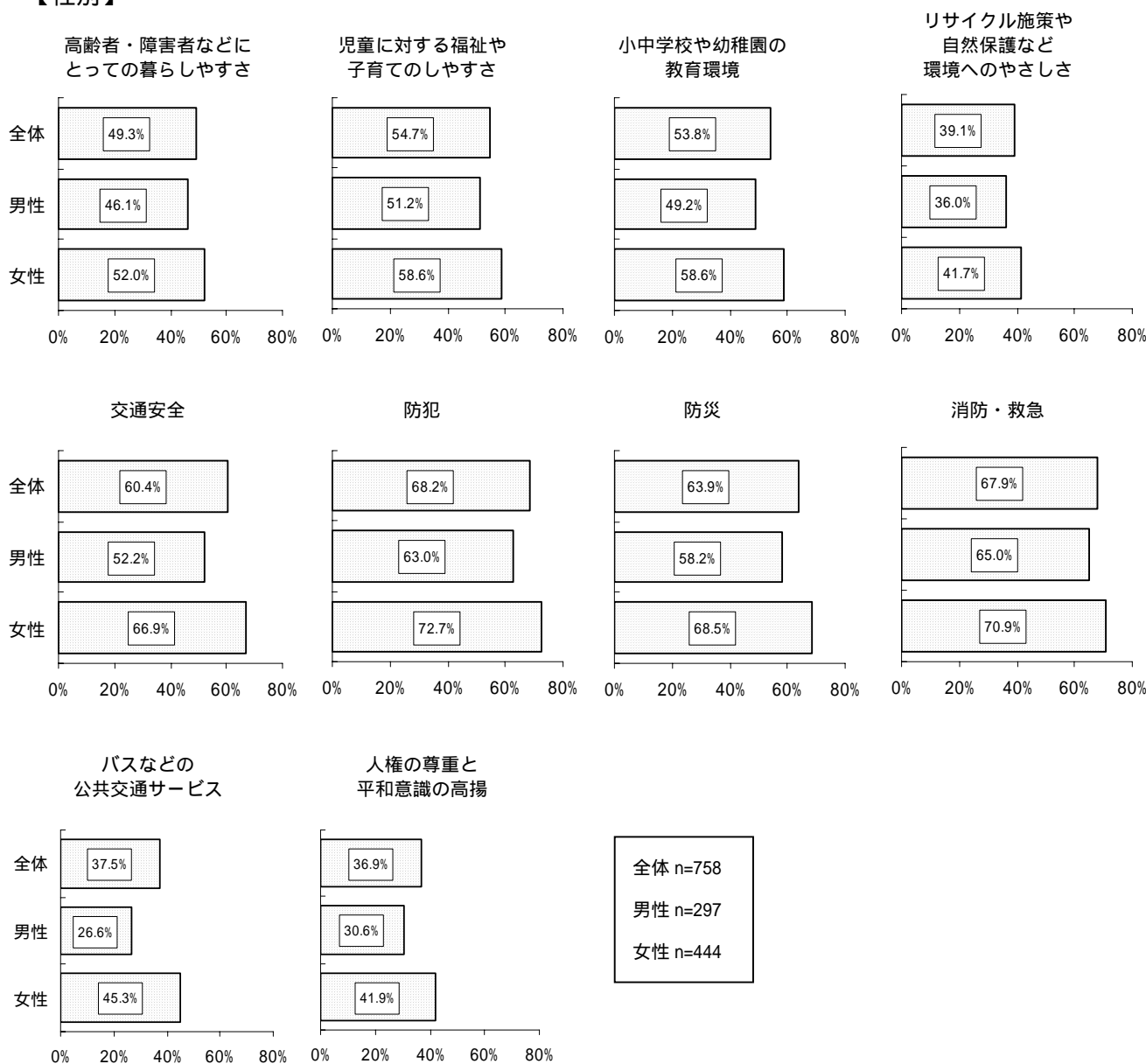


n=758

市の施策についての重要度をたずねたところ、「非常に重要」が多かったのは「防犯」(68.2%)、「消防・救急」(67.9%)、「防災」(63.9%)、「交通安全」(60.4%)で、『安全・安心』に関する全ての項目で6割を超えている。その他では「児童に対する福祉や子育てのしやすさ」(54.7%)、「小中学校や幼稚園の教育環境」(53.8%)、「騒音・悪臭などの少なさ」(50.8%)といった項目で5割超となっている。

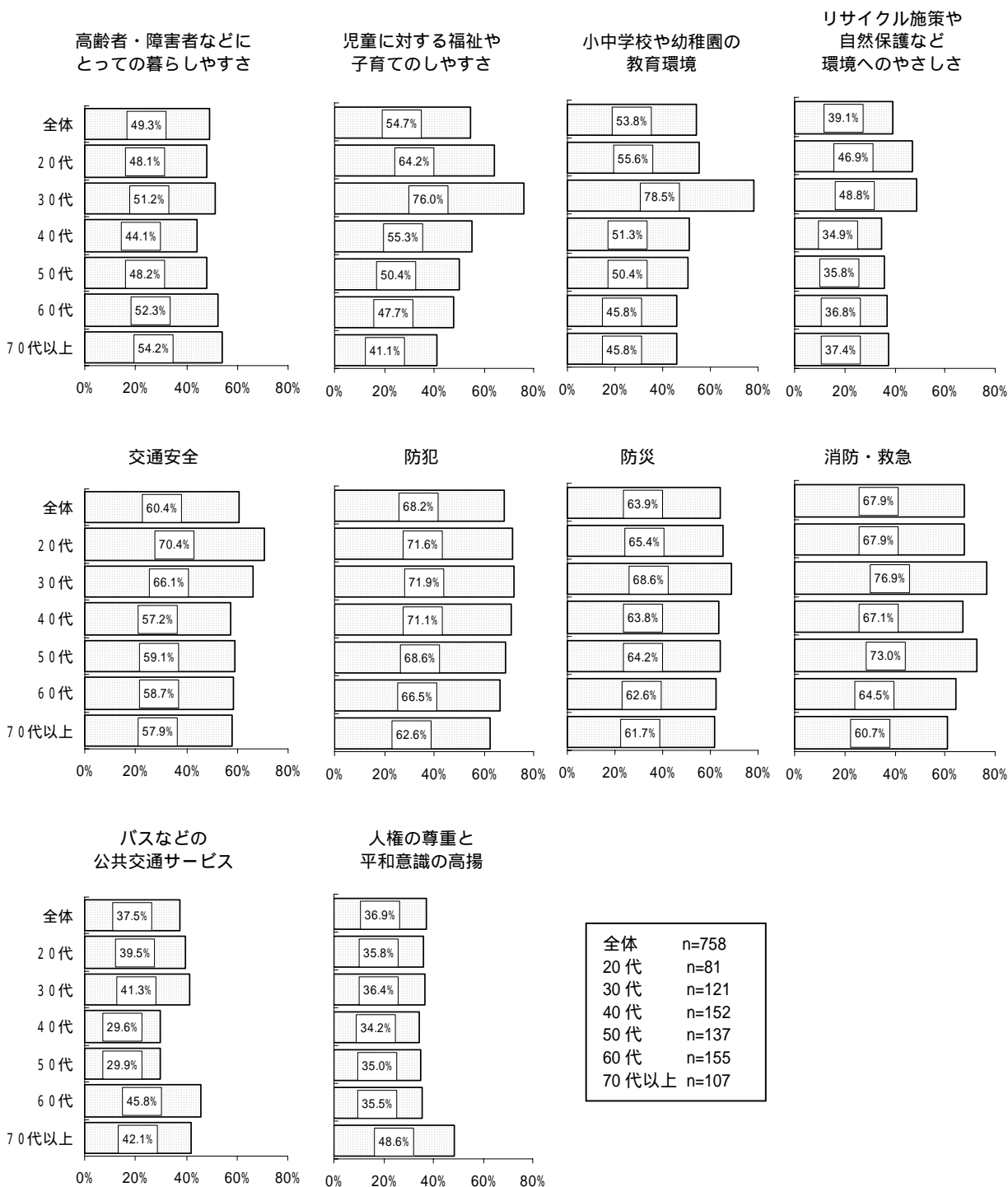
また、市の施策の重要度について、「非常に重要」の回答のみを抽出し、上位10項目を性別で集計したところ、全ての項目において女性が男性よりも「非常に重要」と回答している割合が高くなっている。特に、「バスなどの公共交通サービス」(男性26.6%、女性45.3%で18.7ポイント差)、「交通安全」(男性52.2%、女性66.9%で14.7ポイント差)、「人権の尊重と平和意識の高揚」(男性30.6%、女性41.9%で11.3ポイント差)、「防災」(男性58.2%、女性68.5%で10.3ポイント差)といった項目で、女性が男性の割合を大きく上回っている。

【性別】



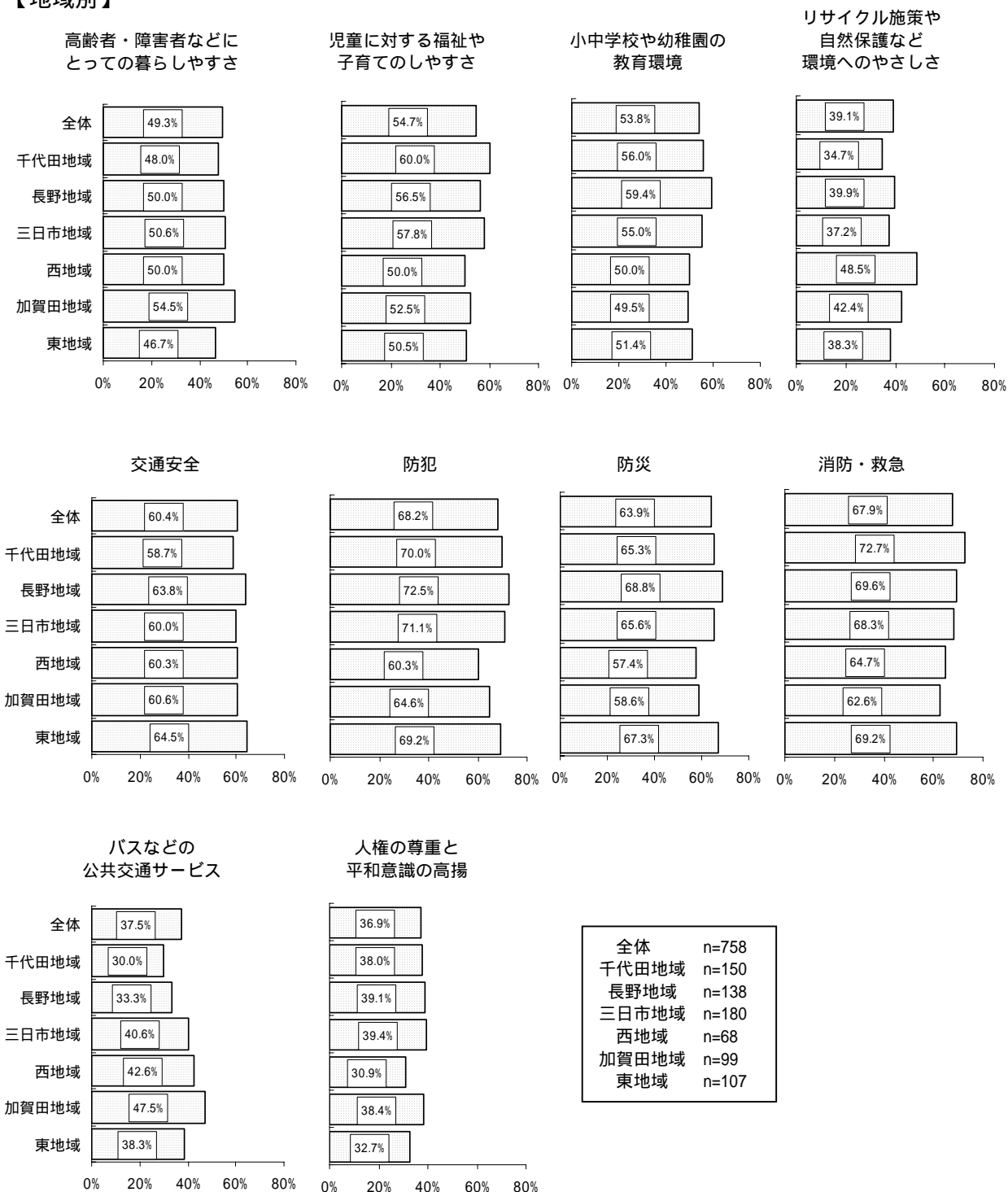
市の施策の重要度について、「非常に重要」の回答のみを抽出し、上位 10 項目を年齢別で集計したところ、最も「非常に重要」の割合の高かった「防犯」では全ての年代で6割を超えており、特に20～40代では7割超であった。また、「児童に対する福祉や子育てのしやすさ」と「小中学校や幼稚園の教育環境」の2項目については子育て世代であると考えられる30代で8割近くを占め、重要視されていることがわかる。一方、「人権の尊重と平和意識の高揚」では70代以上で48.6%と半数近くを占めた。

【年齢別】



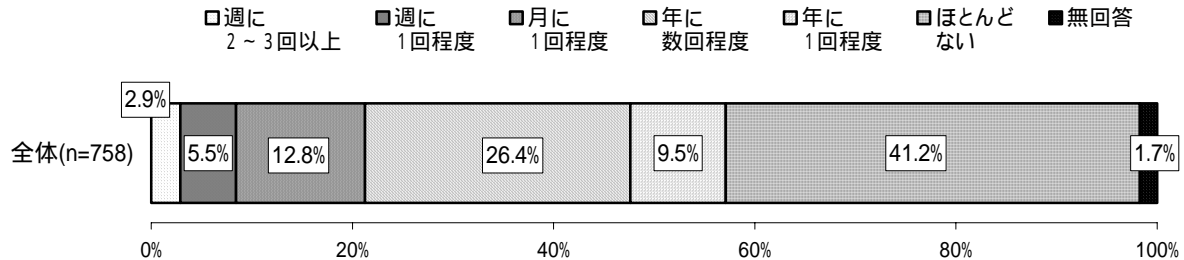
市の施策の重要度について、「非常に重要」の回答のみを抽出し、上位 10 項目を地域別で集計したところ、「児童に対する福祉や子育てのしやすさ」では千代田地域（60.0%）、「小中学校や幼稚園の教育環境」では長野地域（59.4%）、「リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ」では西地域（48.5%）、「バスなどの公共交通サービス」では加賀田地域（47.5%）が、それぞれ他の地域に比べてやや高くなっている。『安全・安心』の 4 項目（「交通安全」・「防犯」・「防災」・「消防・救急」）については、全ての地域で割合が高くなっており、大きな差は見られない。

【地域別】



問20 あなたはこの1年で、市内の地域やまちづくりの活動にどの程度参加されましたか。あてはまる番号にをつけてください。

地域やまちづくりの活動とは、自治会・町内会、PTA、教育、青少年、環境、美化、福祉など、有償・無償を問わず、幅広く社会貢献活動のことを言います。



過去1年間における市内の地域やまちづくり活動への参加状況については、年に数回以上参加したことがある人は47.6%であった。その中では「年に数回程度」(26.4%)が最も多く、「月に1回程度」は12.8%、「週に1回程度」は5.5%、「週に2~3回以上」は2.9%にとどまった。一方、「年に1回程度」は9.5%、「ほとんどない」は41.2%と4割超となっており、地域やまちづくり活動への参加状況は希薄であるといえる。

	週に2~3回以上	週に1回程度	月に1回程度	年に数回程度	年に1回程度	ほとんどない	無回答
全体(n=758)	2.9%	5.5%	12.8%	26.4%	9.5%	41.2%	1.7%
20代(n=81)	1.2%	1.2%	6.2%	9.9%	1.2%	80.2%	0.0%
30代(n=121)	0.8%	4.1%	13.2%	22.3%	9.9%	49.6%	0.0%
40代(n=152)	2.6%	7.9%	17.8%	28.3%	9.9%	32.9%	0.7%
50代(n=137)	2.2%	2.9%	10.9%	36.5%	10.2%	36.5%	0.7%
60代(n=155)	3.2%	8.4%	10.3%	32.3%	13.5%	30.3%	1.9%
70代(n=80)	7.5%	7.5%	18.8%	22.5%	10.0%	31.3%	2.5%
80代以上(n=27)	7.4%	3.7%	11.1%	14.8%	3.7%	51.9%	7.4%

上記の表は、市内の地域やまちづくり活動への参加状況を年齢別にまとめたものである。「ほとんどない」は20代で非常に高く、8割を占める。また、「年に数回程度」は50代で36.5%、60代で32.3%と多く、最も参加頻度の多い「週に2~3回以上」は70~80代以上でやや高くなっている。

・ 調査結果のまとめ

人権問題全般について

「差別」に対する様々な考え方について

「差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである」、「差別される人の言葉をきちんと聞く必要がある」、「あらゆる差別をなくすために、行政は努力すべきである」などで賛成と答えた割合が半数を超えていた。差別はなくすべき行為であり、根絶させることを目指して全員で取り組んでいかなければならないものであるといった考え方が多数を占めていると考えられる。

関心のある人権問題について

関心のある人権問題としては「いじめや虐待など子どもの人権問題」が多数を占め、年齢別に見ても20～50代の幅広い世代で8割以上を占めている。

女性の人権について

女性の人権上の問題としては「痴漢やストーカーなどの性的暴力」、「職場における差別待遇」がそれぞれ4割と高い。「女性の社会進出のための支援制度の不備」や「職場における差別待遇」では、女性が男性を大きく上回っている。

子どもの人権について

子どもの人権が尊重されていないと思うものとしては「親が、子育てを放棄する」が最も多く、他を大きく上回っている。また、ほぼ全ての項目で女性が男性の割合を上回っており、「親が、子どもにしつけのつもりで体罰を加える」、「大人が子どもの意見を聞かず、自分の意見を押し付ける」、「教師が児童や生徒に体罰を加える」ではその傾向が顕著に見られた。

障害者の人権について

住居地域に障害者が暮らす施設が設置されることになった場合、どう思うかについては、「障害のある人も地域社会の一員なので、受け入れることに問題はない」が最も多く、「自分や家族が障害者になったときのことを考えれば、身近な所に施設があった方がよい」の割合を合わせると74.9%となり、許容派が多数を占めた。河内長野市内における居住年数が50年以上の人では、許容派は85.4%に上る。

高齢者の人権について

高齢者の人権が尊重されていないと思うものとしては「道路の段差解消、エレベーターの設置など高齢者に配慮したまちづくりが十分でない」が最も多く、バリアフリー化の整備が望まれていることが

わかる。また、女性では「病院での看護や介護施設での介護において、冷たく扱われたり虐待を受ける」が半数近くを占め、男性の割合を大きく上回った。

外国人の人権について

日本で暮らす外国人の人権が尊重されていないと思うものとしては「就職や職場において不利な扱いを受けること」が最も多く、特に20代においては6割近くを占める。一方、60代以上では「特になし」との回答が3割近くに上る。

その他の人権について

インターネット上での人権について

インターネット上で人権が尊重されていないと思うものとしては「他人への誹謗中傷や差別的な表現などを掲載すること」で7割近くを占める。若年層では「第三者により電子メールが閲覧されること」などで高い一方、高年層では「犯罪を誘発する場となっている出会い系サイトが存在すること」や「ネットポルノなど違法、有害なホームページが存在すること」が高くなっている。

エイズ患者、ハンセン病回復者などの人権について

エイズ患者、ハンセン病回復者などの人権が尊重されていないと思うものとしては「悪い噂を流されたり、差別的な言動を受けること」が過半数を超える。特に20代では8割近くを占めている。

犯罪被害者などの人権について

犯罪被害者などの人権が尊重されていないと思うものとしては「過度な報道により、プライバシーが侵害され平穏な私生活が送れなくなること」(71.8%)が非常に高く、特に30~40代では8割超を占める。

同和問題について

日本の社会に同和問題や部落問題などと呼ばれている差別の問題があることを「知っている」と答えた割合は9割超と大半を占め、「知らない」はわずか5.4%にとどまった。また、そういった問題を初めて知ったきっかけとしては、20~40代では「学校の授業で教わった」が5~6割を占めているのに対し、50代以上では「母や家族から聞いた」や「テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍などで知った」が高くなっている。

同和地区の人に対する差別的な言動や落書きを見聞きしたことがあるかについては「見聞きしたことがある」は3割弱であった。その場合の対処方法として最も多かったのは「差別と気づいたが、誤りを指摘できなかった」で46.3%を占めた。しかし、50~60代においては「差別と気づき、誤りを指摘した」が25.0%と他の年代に比べて高い。

住居を選ぶ際に同和地区や同和地区と同じ小学校区にある物件を避けるかどうかについては「同和地区や同じ小学校区になる物件は避けると思う」は40代で、「同和地区のある物件は避けるが、同じ小学校区にある物件は避けないと思う」は30代でと、子育て世代と考えられる年代でそれぞれ高くな

っている。一方、「いずれにあってもこだわらない」は70代で3割超と多い。

また、同和地区の人たちが就職時に不利になることがあると思うかどうかについては「わからない」が半数近くに上った。「不利になることがある」は20代、逆に「不利になることはない」は60代で最も高くなっている。不利になることがあると思うと答えた人に対して、そういった差別を近い将来なくすることができるかどうかについてたずねたところ、「かなりなくすることができる」と「なくすことは難しい」がほぼ同率を占め、意見が大きく分かれた。

結婚相手を考える際、相手の人柄や性格以外で気になること（気になったこと）については、女性では「相手の経済力」、「相手の職業」が非常に高いが、いずれも未婚者よりも既婚者では割合が低い。

「特に気にしない（気にしなかった）」の割合も未婚者では6.7%であるのに対し、既婚者では31.4%まで増加している。男性においては、未婚者も既婚者いずれにおいても「特に気にしない（気にしなかった）」が多く、相手の人柄や性格のみで結婚相手を考える傾向が顕著に見られた。

人権侵害について

人権侵害を受けた場合の対応としては、男性では「法務局や人権擁護委員に相談する」、「弁護士に相談する」といった専門機関に相談すると答えた割合が多い一方、女性では「身近な人（家族や友人、教師など）に相談する」が高くなっている。また、公的機関に相談すると答えた割合は、50代以上では5～6割を占めるのに対し、若年層では低い。公的機関に相談しようとならない理由としては、「どこで相談を受けてもらえるかわからないから」が最も高く、特に20～40代では4割超となっている。50～70代では「なるべく自分たちで解決したいから」が3割前後と高い。

市政全般に関連した内容について

市の生活環境についての満足度

市の生活環境について、満足度が高いのは「町並み・自然・歴史などの美しさ」、「騒音・悪臭などの少なさ」、「まち全体としての『自然や環境への配慮』」等となっており、河内長野市の自然環境が豊かであることが見てとれる。一方、不満度が高いのは「まち全体としての『産業の活性化』」、「身近な場での働きやすさ」、「日常的なレジャーや娯楽などの環境」、「バスなどの公共交通サービス」といったまちの活性化や公共交通機関の整備などとなっている。

市の施策の重要度

市の施策について、重要度が高いのは「防犯」、「消防・救急」、「防災」、「交通安全」の4項目で、いずれも『安全・安心』に関わるものであった。また、「児童に対する福祉や子育てのしやすさ」や「小中学校や幼稚園での教育環境」といった重要度も高い。

市内の地域やまちづくりの活動への参加状況

過去1年間における市内の地域やまちづくり活動への参加状況は「ほとんどない」が4割超と多く、特に20代では8割を占める。50～60代では「年に数回程度」、70代以上では「週に2～3回以上」がやや多くなっているが、全体的にはまちづくり活動への希薄さが目立った。

資料 調査票見本

あなたの声を市政に

第34回河内長野市民意識調査

市政アンケート調査のお願い

市民のみなさまには、日頃から市政に対し、何かとご理解とご協力をたまわりありがとうございます。

さて、今年も「市民の声」を市政に反映するため、20歳以上の市民のみなさまの中から、2,000人の方々を無作為に選ばせていただき、アンケート調査を実施させていただくことになりました。

今年は「河内長野市民の人権意識」をテーマに、市民の皆さんが人権問題について、どう考えておられるのか、感じられているか、みなさまの率直なご意見をお聞きし、今後の人権行政を推進していくうえでの基礎資料を得ることを目的に実施します。

アンケートの結果については、すべて統計的に処理し、ご回答いただいた内容については、この調査の目的以外には使用いたしません。

ご多忙の折とは存じますが、11月16日（金）までにご回答くださるよう、ご協力のほどお願い申し上げます。

平成19年11月

河内長野市長



ご記入にあたってのお願い

- このアンケート調査は個人を対象にしていますので、本人による記入が困難な場合を除き、封筒のあて名の方がご自身でご記入ください。
- 回答は問1から順に、質問ごとに用意してある答えの中から、あなたのお考えにあてはまる番号または項目に○をつけてください。また「その他」に○をつけた場合は、（ ）内に具体的にご記入ください。
- 記入後は同封の返信用封筒に入れて封をし、名前を書かずに郵便ポストへご投函ください。切手は不要です。
- このアンケート調査についてのお問い合わせなどがありましたら、下記のところへご連絡ください。

<問い合わせ先>

河内長野市 企画総務部 広報広聴課

TEL：53-1111（内線238）

最初に人権問題全般についておたずねします

問1 一般的に「差別」というものについて、あなたはどのような考えをお持ちですか。次にあげる1～11のすべてについてお答えください。頭に浮かんだことを気軽に回答してください。(○はそれぞれ1つ)

賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5

問2 次の人権問題で、あなたが関心のあるものは何ですか。(複数回答可)

1. 同性問題	1	2	3	4	5
2. セクシュアル・ハラスメントなど女性の権利問題	1	2	3	4	5
3. 障害者の権利問題	1	2	3	4	5
4. 財産や金銭の相続、虐待など高齢者の権利問題	1	2	3	4	5
5. いじめや虐待など子どもの権利問題	1	2	3	4	5
6. 採用拒否や入居拒否などの外国人の権利問題	1	2	3	4	5
7. HIV感染者、ハンセン病回復者などの権利問題	1	2	3	4	5
8. 犯罪被害者とその家族の権利問題	1	2	3	4	5
9. ホームレスの権利問題	1	2	3	4	5
10. プライバシーをめぐるとの権利問題	1	2	3	4	5
11. その他 (具体的に)	1	2	3	4	5
12. 特になし	1	2	3	4	5

1. 女性の権利についておたずねします

問3 あなたは、女性に関して現在、どのような人権上の問題があると思いますか。(複数回答可)

1. 性別による固定的な役割分担意識 (「男は仕事、女は家庭」など)	1	2	3	4	5
2. 職場における差別待遇 (賃金、昇給、ポスト、職種など)	1	2	3	4	5
3. 女性の社会進出のための支援制度の不備	1	2	3	4	5
4. 家庭内における夫婦間の暴力 (DVなど)	1	2	3	4	5
5. 性的いやがらせ (セクシュアル・ハラスメントなど)	1	2	3	4	5
6. 痴漢やストーカーなどの性的暴力	1	2	3	4	5
7. 売春・買春、援助交際	1	2	3	4	5
8. アダルト、ポルノ雑誌における女性のヌード写真や映像を使用した雑誌や広告	1	2	3	4	5
9. インターネット上のアダルト向けホームページ	1	2	3	4	5
10. 電車内などの公共交通の場における性的に閉する情報の氾濫	1	2	3	4	5
11. 女性の容姿を覗くコンテスト	1	2	3	4	5
12. その他 (具体的に)	1	2	3	4	5
13. 特になし	1	2	3	4	5
14. わからない	1	2	3	4	5

2. 子どもの権利についておたずねします

問4 次のうち、あなたが「子どもの権利が尊重されていない」と思うものはどれですか。(複数回答可)

1. 親が、子どもにしつけのつもりで体罰を加える	1	2	3	4	5
2. 親が、子育てを放棄する	1	2	3	4	5
3. 子どもが暴力や仲間はずれ、無視などのいじめをする	1	2	3	4	5
4. いじめを見て見ぬふりをする	1	2	3	4	5
5. 大人が子どもの意見を聞かず、自分の意見を押し付ける	1	2	3	4	5
6. 教師が児童や生徒に体罰を加える	1	2	3	4	5
7. ビデオやインターネット、携帯電話などにより子どもを取り巻く性に関する情報が氾濫する	1	2	3	4	5
8. 地域での不審者による子どもへの危害	1	2	3	4	5
9. 仲間はずれや無視、身体への直接暴力や相手が嫌がることをしたりさせたりすることなどを行う	1	2	3	4	5
10. 子どもの様子を探るため、手紙や日記、メールなどを勝手にみる	1	2	3	4	5
11. その他 (具体的に)	1	2	3	4	5
12. 特になし	1	2	3	4	5
13. わからない	1	2	3	4	5

3、障害者の人権についておたずねします

問5 あなたの住居地域に障害者が暮らす施設が設置されるとしたら、あなたはどう思いますか。
(○は1つ)

1. 必要な施設だと思うが、自分の住む地域に設置されるのは困る
2. いままで障害者と接したことがなかったので不安に思う
3. 障害のある人も地域社会の一員なので、受け入れることに問題はない
4. 自分や家族が障害者になったときのことを考えれば、身近な所に施設があった方がよい

4、高齢者の人権についておたずねします

問6 次のうち、あなたが「高齢者の人権が尊重されていない」と思うものはどれですか。
(複数回答可)

1. 道路の歩道横断、エレベーターの設置など高齢者に配慮したまちづくりが十分でない
2. 能力を発揮する機会が少ない
3. 高齢者向けの住宅が不足している
4. 悪徳商法や詐欺の被害者になることが多い
5. 病院での看護や介護や介護施設での介護において、冷たく扱われたり虐待をうける
6. 高齢者の意見や行動が尊重されない
7. 高齢者に対する保健、医療、福祉などのサービスが十分でない
8. 情報を高齢者にわかりやすい形にして伝える配慮が足りない
9. 家庭内において、いやがらせや虐待を受ける
10. その他 (具体的に)
11. 特にない
12. わからない

5、外国人の人権についておたずねします

問7 次のうち、あなたが「日本で暮らす外国人の人権が尊重されていない」と思うものはどれですか。(複数回答可)

1. 入学や学校において不利な扱いを受けること
2. 就職や職場において不利な扱いを受けること
3. 住宅の申し込みや入居に際し、入居拒否など不利な扱いを受けること
4. 年金制度や参政権などの社会参加ができていないこと
5. 結婚問題で周囲から反対を受けること
6. 文化や慣習の違いが受け入れられないこと
7. 公共施設などにおける外国語表示が不十分であること (情報が伝わりにくい)
8. その他 (具体的に)
9. 特にない
10. わからない

6、その他の人権についておたずねします

問8 次のうち、あなたが「インターネット上で人権が尊重されていない」と思うものはどれですか。(複数回答可)

1. 他人への誹謗中傷や差別的な表現などを掲載すること
2. 捜査対象者の未成年の名前、顔写真などが掲載されること
3. 第三者により電子メールが閲覧されること
4. 犯罪を誘発する場となっている出会い系サイトが存在すること
5. ネットボロなど違法、有害なホームページが存在すること
6. その他 (具体的に)
7. 特にない
8. わからない

問9 次のうち、あなたが「エイズ患者、ハンセン病回復者などの人権が尊重されていない」と思うものはどれですか。(複数回答可)

1. 病院で治療・入院を拒否されること
2. 家族や親戚からつきあいを拒否されること
3. 結婚拒否や離婚をせまられること
4. 住宅を容易に借りることができないこと
5. 就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いを受けること
6. 本人に無断で、感染を他人に知らされること
7. メディアによって過度な報道をされること
8. 悪い噂を流されたり、差別的な言動を受けること
9. 公共施設などの利用で不利な扱いを受けること
10. その他 (具体的に)
11. 特にない
12. わからない

問10 次のうち、あなたが「犯罪被害者などの人権が尊重されていない」と思うものはどれですか。(複数回答可)

1. 犯罪行為によって精神的なショックを受けること
2. 犯罪行為によって経済的な負担が増え、生活が苦しくなること
3. 事件のことに閉じて、うわさ話をされること
4. 警察に相談しても期待どおりの結果が得られないこと
5. 捜査や刑事裁判において精神的負担が増えること
6. 刑事裁判手続きに必ずしも被害者などの声が十分に反映されるわけではないこと
7. 過剰な報道により、プライバシーが侵害され穏やかな私生活が送れなくなる
8. その他 (具体的に)
9. 特にない
10. わからない

7. 同和問題についておたずねします

問11 あなたは、日本の社会に、同和問題や部落問題などと呼ばれている差別の問題があることを知っていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つのみ)

1. 知っている 2. 知らない 一問12へお進みください

【問11で「1.」を知っていると答えた方にお聞きます。】

- 問11-1 そのことを初めて知ったのは、どういうことですか。(○は1つのみ)
1. 母や家族から聞いた
 2. 近所の人から聞いた
 3. 学校の友達から聞いた
 4. 職場の人から聞いた
 5. 学校の授業で教わった
 6. 講演会、研修会などで聞いた
 7. 都道府県、市町村の広報紙で知った
 8. テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍などで知った
 9. 近くに「同和地区」があった
 10. その他(具体的に)
 11. 覚えていない

問12 あなたは、同和地区の人に対する差別的な言動や落書きを見聞きしたことがありますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つのみ)

1. 見聞きしたことがある 2. 見聞きしたことはない 一問13へお進みください

【問12で「1.」を見聞きしたことがある」と答えた方にお聞きます。】

問12-1 その時、あなたはどのように感じましたか。(複数回答可)

1. 差別と気づき、涙りや指摘した
2. 差別と気づき、他の人に指摘してもらいように頼んだ
3. 差別と気づいたが、涙りを指摘できなかった
4. 差別と気づかなかったため、見過ごした
5. その他(具体的に)
6. わからない

問13 もし、あなたが家を購入したり、マンションを借りたりするなど住宅を選ぶ際、同和地区や同和地区と同じ小学校区にある物件は避けると思いますか。(○は1つのみ)

1. 同和地区や同じ小学校区になる物件は避けないと思う
2. 同和地区のある物件は避けるが、同じ小学校区にある物件は避けないと思う
3. いずれにあってもこだわらない
4. わからない

問14 現在、同和地区の人たちは、就職するときに不利になることがあると思いますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つのみ)

1. しばしば不利になることがある 3. 不利になることはない 一問15へお進みください
2. たまに不利になることがある 4. わからない

【問14で「1.」または「2.」と答えた方にお聞きます。】

問14-1 それは、近い将来、なくすことができると思いますが。(○は1つのみ)

1. 完全になくすことができる
2. かなりなくすことができる
3. なくすことは難しい
4. わからない

問15 あなたの結婚相手を考える際、相手の人柄や性格以外で気になること(気になったこと)についてお聞きます。

(1) あなたは結婚されていますか。(○は1つのみ)

1. 未婚 2. 既婚(離別・死別を含む)

↓

(2) 【1.未婚】と答えた方にお聞きます。】 (3) 【2.既婚】と答えた方にお聞きます。】

気になること、気になると思うことをお答えください。(複数回答可)

1. 相手の学歴
2. 相手の経済力
3. 相手の職業
4. 相手の家柄
5. 相手の国籍・民族
6. 相手の家族に障害のある人がいるかどうか
7. 相手の宗教
8. 相手が同和地区出身者かどうか
9. その他(具体的に)
10. 特に気にしない

1. 相手の学歴
2. 相手の経済力
3. 相手の職業
4. 相手の家柄
5. 相手の国籍・民族
6. 相手の家族に障害のある人がいるかどうか
7. 相手の宗教
8. 相手が同和地区出身者かどうか
9. その他(具体的に)
10. 特に気にしなかった

8、人格侵害についておたずねします

問16 もし、あなたや家族の方が人権侵害を受けたら、どのように対応しますか、あてはまるものに3つ以内で○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|--|
| 1. 我慢する | |
| 2. 相手に抗議する | |
| 3. 身近な人（家族や友人、教師など）に相談する | |
| 4. 人権問題に詳しい人に相談する | |
| 5. 弁護士に相談する | |
| 6. 市民団体に相談する | |
| 7. 法務局や人権擁護委員に相談する | |
| 8. 市役所に相談する | |
| 9. 警察に相談する | |
| 10. その他（具体的に) | |

問17 【問16で7、8、9のいずれの項目にも○をしなかつた方にお問します。】
 公的機関に相談しようとしなはなはなぜですか、あてはまるものに○をつけてください。
 (複数回答可)

- | | |
|--------------------------|--|
| 1. なるべく自分たちで解決したいから | |
| 2. 支援が得られず頼りにならないから | |
| 3. 情報が得られず頼りにならないから | |
| 4. 民間の相談機関の方が頼りになるから | |
| 5. わかってもらえないから | |
| 6. 秘密が守られるから不安だから | |
| 7. 秘密を知られたくないから | |
| 8. どこで相談を受けてもらえるかわからないから | |
| 9. その他（具体的に) | |

※河内長野市の人権問題や今後の人権教育・啓発について、ご意見、ご要望がありましたら、下の空欄に自由にお書きください。

--

一次ページ以降は、河内長野市の市政全般についての質問にお答えください。

市政全般に関連した内容についておたずねします

問18 あなたは、現在の河内長野市の生活環境についての程度満足されていますか、あてはまるものに3つ以内で○をつけてください。

	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満	わからない
1. 高齢者・障害者などにとっての暮らしやすさ	1	2	3	4	5	6
2. 児童に対する福祉や子育てのしやすさ	1	2	3	4	5	6
3. スポーツなど健康づくりの場や機会	1	2	3	4	5	6
4. 1～3を含めたまち全体としての「健康・福祉」について	1	2	3	4	5	6
5. 生涯学習の環境	1	2	3	4	5	6
6. 文化・芸術活動などの環境	1	2	3	4	5	6
7. 小中学校や幼稚園の教育環境	1	2	3	4	5	6
8. 5～7を含めたまち全体としての「教育・文化」について	1	2	3	4	5	6
9. リサイクル施設や自然保護など環境へのやさしさ	1	2	3	4	5	6
10. 町並み・自然・歴史などの美しさ	1	2	3	4	5	6
11. 騒音・悪臭などの少なさ	1	2	3	4	5	6
12. 9～11を含めたまち全体としての「自然や環境への配慮」について	1	2	3	4	5	6
13. 交通安全	1	2	3	4	5	6
14. 防犯	1	2	3	4	5	6
15. 防災	1	2	3	4	5	6
16. 消防・救急	1	2	3	4	5	6
17. 13～16を含めたまち全体としての「安全・安心」について	1	2	3	4	5	6
18. 商業地などにぎわい	1	2	3	4	5	6
19. 日常的なレジャーや娯楽などの環境	1	2	3	4	5	6
20. 身近な場での働きやすさ	1	2	3	4	5	6
21. 18～20を含めたまち全体としての「産業の活性化」について	1	2	3	4	5	6
22. バスなどの公共交通サービス	1	2	3	4	5	6
23. 道路や橋などの交通網	1	2	3	4	5	6
24. 公園や緑地などの環境	1	2	3	4	5	6

	非常に満足	普通	やや満足	やや不満足	非常に不満足	わからない
25. 2～24を含めたまち全体としての「都市基盤の整備」について	1	2	3	4	5	6
26. 人権の尊重と平和意識の高揚	1	2	3	4	5	6
27. 市全体として	1	2	3	4	5	6

問19 あなたは、次のそれぞれについて、どの程度重要だと思われるか。各項目についてあなたのお考えに近い番号に○をつけてください。

	非常に重要	やや重要	あまり重要ではない	重要でない	わからない
1. 高齢者・障害者などにとつての暮らしやすさ	1	2	3	4	5
2. 児童に対する福祉や子育てのしやすさ	1	2	3	4	5
3. スポーツなど健康づくりの場や機会	1	2	3	4	5
4. 生涯学習の環境	1	2	3	4	5
5. 文化・芸術活動などの環境	1	2	3	4	5
6. 小中学校や幼稚園の教育環境	1	2	3	4	5
7. リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ	1	2	3	4	5
8. 町並み・自然・歴史などの美しさ	1	2	3	4	5
9. 騒音・悪臭などの少なさ	1	2	3	4	5
10. 交通安全	1	2	3	4	5
11. 防犯	1	2	3	4	5
12. 防災	1	2	3	4	5
13. 消防・救急	1	2	3	4	5
14. 商業地などのにぎわい	1	2	3	4	5
15. 日常的なレジャーや娯楽などの環境	1	2	3	4	5
16. 身近な場での働きやすさ	1	2	3	4	5
17. バスなどの公共交通サービス	1	2	3	4	5
18. 道路や橋などの交通網	1	2	3	4	5
19. 公園や緑地などの環境	1	2	3	4	5
20. 人権の尊重と平和意識の高揚	1	2	3	4	5

問20 あなたはこの1年で、市内の地域やまちづくりの活動にどの程度参加されましたか。あてはまる番号に○をつけてください。
※地域やまちづくりの活動とは、自治会・町内会、PTA、教育、青少年、環境、美化、福祉など、有償・無償を問わず、幅広く社会貢献活動のことを言います。

1. 週に2～3回以上	4. 年に数回程度
2. 週に1回程度	5. 年に1回程度
3. 月に1回程度	6. ほとんどない

あなた自身についておたずねします

問21 あなたの性別についてお答えください。
1. 男性 2. 女性

問22 あなたの年齢についてお答えください。
1. 20～24歳 8. 55～59歳
2. 25～29歳 9. 60～64歳
3. 30～34歳 10. 65～69歳
4. 35～39歳 11. 70～74歳
5. 40～44歳 12. 75～79歳
6. 45～49歳 13. 80～84歳
7. 50～54歳 14. 85歳以上

問23 あなたのご職業についてお答えください。
1. 会社員・公務員などの勤め人
2. アルバイト・パートタイム
3. 商工・サービス業などの自営業・自由業
4. 農林漁業
5. 家事専従
6. 学生
7. その他(具体的に)
8. 無職

問24 あなたの家族構成についてお答えください。

1. 単身 (ひとり暮らし))
2. 夫婦のみ世帯	
3. 親子2世代世帯	
4. 親子孫3世代世帯	
5. その他 (具体的に	

問25 住んでおられる地区は、次のどれに該当しますか。記入例を参考に地区名を二つを選び、右側の開き内のあてはまる町名に○をつけてください。

【記入例】

地区名	町名
1 天野地区	天野町、下里町、緑ヶ丘北・中・南町

地区名	町名
1 天野地区	天野町、下里町、緑ヶ丘北・中・南町
2 天見地区	天見、岩瀬、清水、流谷
3 小山田地区	小山田町、荘園町、千代田台町
4 加賀田地区	北・南青葉台、石仏、大矢給北・中・南・西町、加賀田、産久谷、南ヶ丘
5 川上地区	石見川、太井、神ヶ丘、河合寺、清見台1～5丁目、小浜、寺元、鳩原
6 楠地区	あかしあ台1・2丁目、北・南青葉ヶ丘、桐ヶ丘、楠町東・西、自由ヶ丘、松ヶ丘東・中・西町
7 高向地区	旭ヶ丘、滝畑、高向、日野
8 千代田地区	市野、木戸町、木戸東町、木戸1～3丁目、砂の富町、千代田南町、向野町、木戸西町1～3丁目
9 長野地区	上原町、上原国町、菊水町、寿町、栄町、昭栄町、末広町、長野町、錦町、西代町、西之山町、野作町、原町、古野町、本多町、本町、原町1～5丁目
10 南花台地区	南花台1～8丁目
11 美加の台地区	美加の台1～7丁目
12 三日市地区	上田町、小畑町、中・西・東片添町、菟多町、楠ヶ丘、大鐘町、日東町、三日市町

問26 あなたが河内長野市にお住まいになって通算で何年になりますか。

1. 5年未満
2. 5～10年未満
3. 10～20年未満
4. 20～30年未満
5. 30～50年未満
6. 50年以上

問27 現在地にお住まいになられる前は、どちらにお住まいでしたか。

1. 生まれてからずっと現在地に住んでいる
2. 現在地以外の河内長野市
3. 河内長野市以外の南河内地域 (富田林市・大阪狭山市・羽曳野市・藤井寺市・松原市・河内町・太子町・千早赤阪村)
4. 堺市
5. 大阪府
6. その他大阪府
7. 大阪府以外の都道府県または海外 (具体的な県名、国名)

※ ※ お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。 ※ ※

平成19年度

第34回 河内長野市民意識調査
『人権に関する意識調査』
報告書

発行 河内長野市

発行年月日 平成20(2008)年3月